

# 東京外かく環状道路(関越～東名)

## 基本設計及び用地に関する説明会

平成23年1月

国土交通省関東地方整備局  
東京外かく環状国道事務所

1

### 東京外かく環状道路(関越～東名)とは

平成21年5月29日 事業化

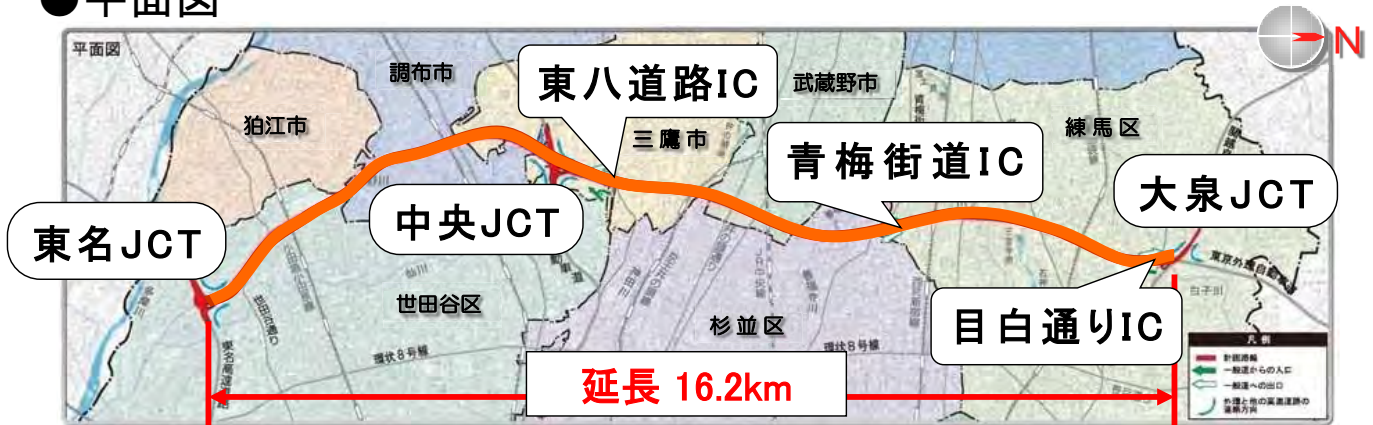


注)IC・JCT名は仮称  
(供用区間は除く)

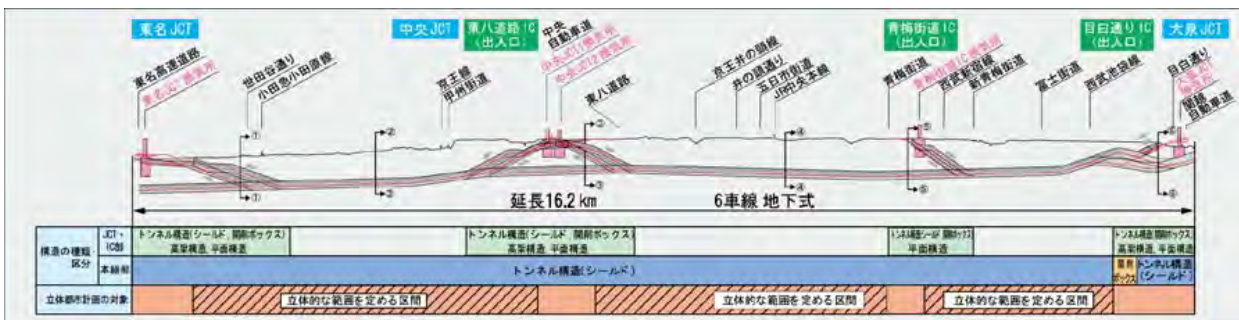
2

# 外環(関越～東名)の計画概要

## ● 平面図



## ● 縦断面図

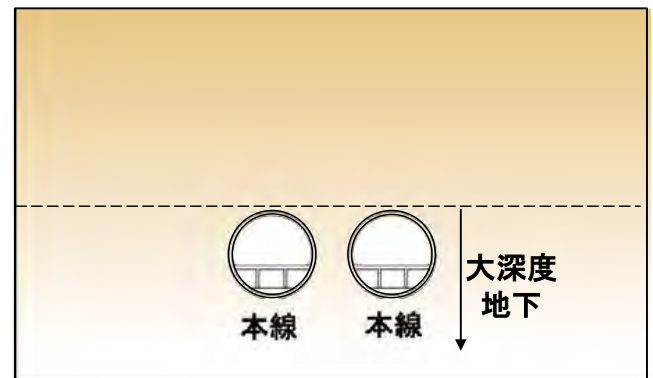
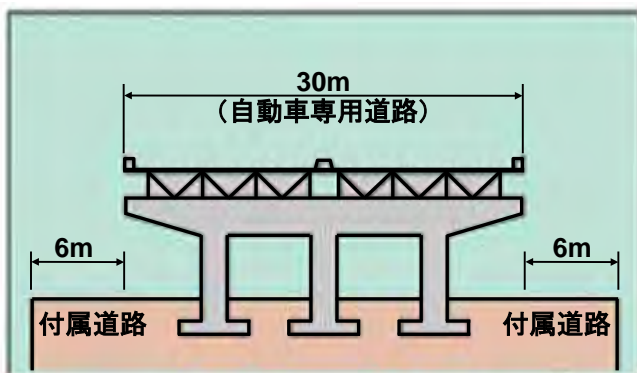


3  
注)IC・JCT名は仮称(供用区間は除く)

# 標準断面(都市計画の変更)

以前の都市計画  
(昭和41年7月決定)  
高架構造

現在の都市計画  
(平成19年4月変更)  
トンネル構造



# 大深度地下

## ■大深度地下とは

・通常利用されない地下空間(①または②のいずれか深い方の空間)

①地下室の建設のための利用が通常行われない深さ(地下40m以深)

②建築物の基礎の設置のための利用が通常行われない深さ(支持地盤上面から10m以深)



5

# 大深度地下

## ■大深度地下を利用した場合の特徴

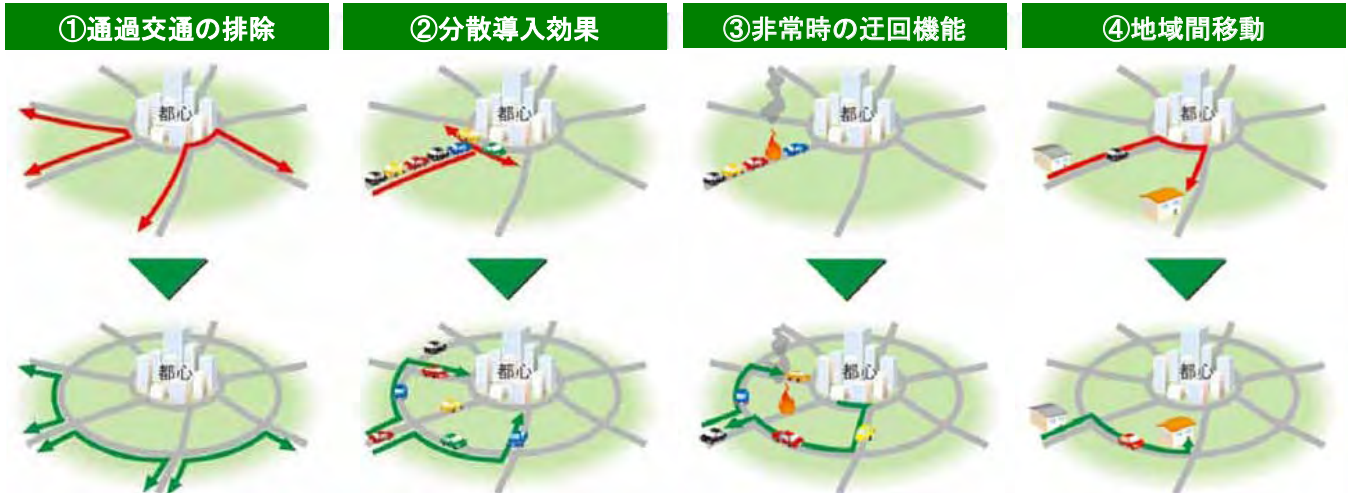
①地表や浅い地下に比べて、地震の影響を受けにくい  
ため安全性が向上

②地表や浅い地下に比べて、騒音の減少、景観の保護等、地上の都市環境の保全に寄与

6

# 環状道路の役割

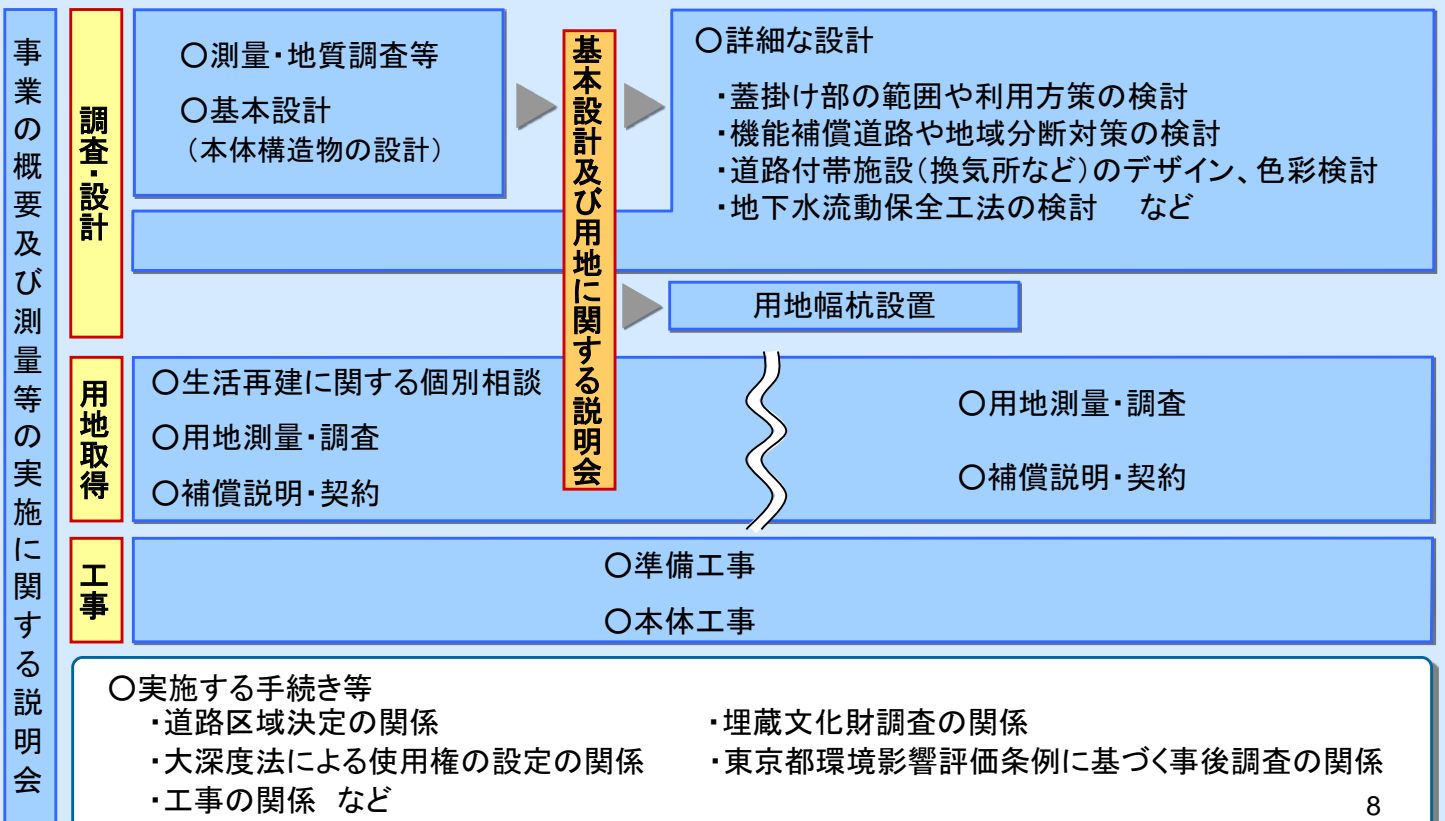
- ① 通過交通の都心部への流入を抑制
- ② 郊外から都心部への交通を分散導入
- ③ 災害や事故等による一部区間の不通にも速やかに移動
- ④ 周辺地域間での直接移動



# 事業の流れ

## 事業実施段階

※地域の皆さまへ必要な説明を行い、適宜、ご意見をお聴きしつつ実施



## 本日の説明内容

- ① 現地で実施した地質調査の結果
- ② 基本設計
- ③ 詳細な設計の進捗状況等
- ④ 用地の補償に関する進め方

9

## 対応の方針

### ●対応の方針

これまでオープンハウスや地域での課題検討会等で頂いた意見などを踏まえ、今後検討していく課題とその解決のための対応の方針などをとりまとめています。

#### 1. 交通

(1)地区交通 (2)幹線交通 (3)広域交通

#### 2. 環境

(1)大気質 (2)騒音、振動、低周波音 (3)地下水 (4)動物、植物、生態系 (5)緑の量  
(6)景観 (7)日照障害・電波障害・風など (8)史跡、文化財 (9)環境一般

#### 3. まちづくり

(1)まちづくり全般 (2)地域分断 (3)土地利用

#### 4. 安全・安心

(1)交通安全・治安 (2)災害・事故時の対応

#### 5. 工事中

(1)工事中の交通への影響 (2)工事中の環境への影響 (3)工事中の安全性

#### 6. 用地補償

#### 7. 計画検討の進め方

(1)計画検討全般 (2)意見反映 (3)情報の提供

10

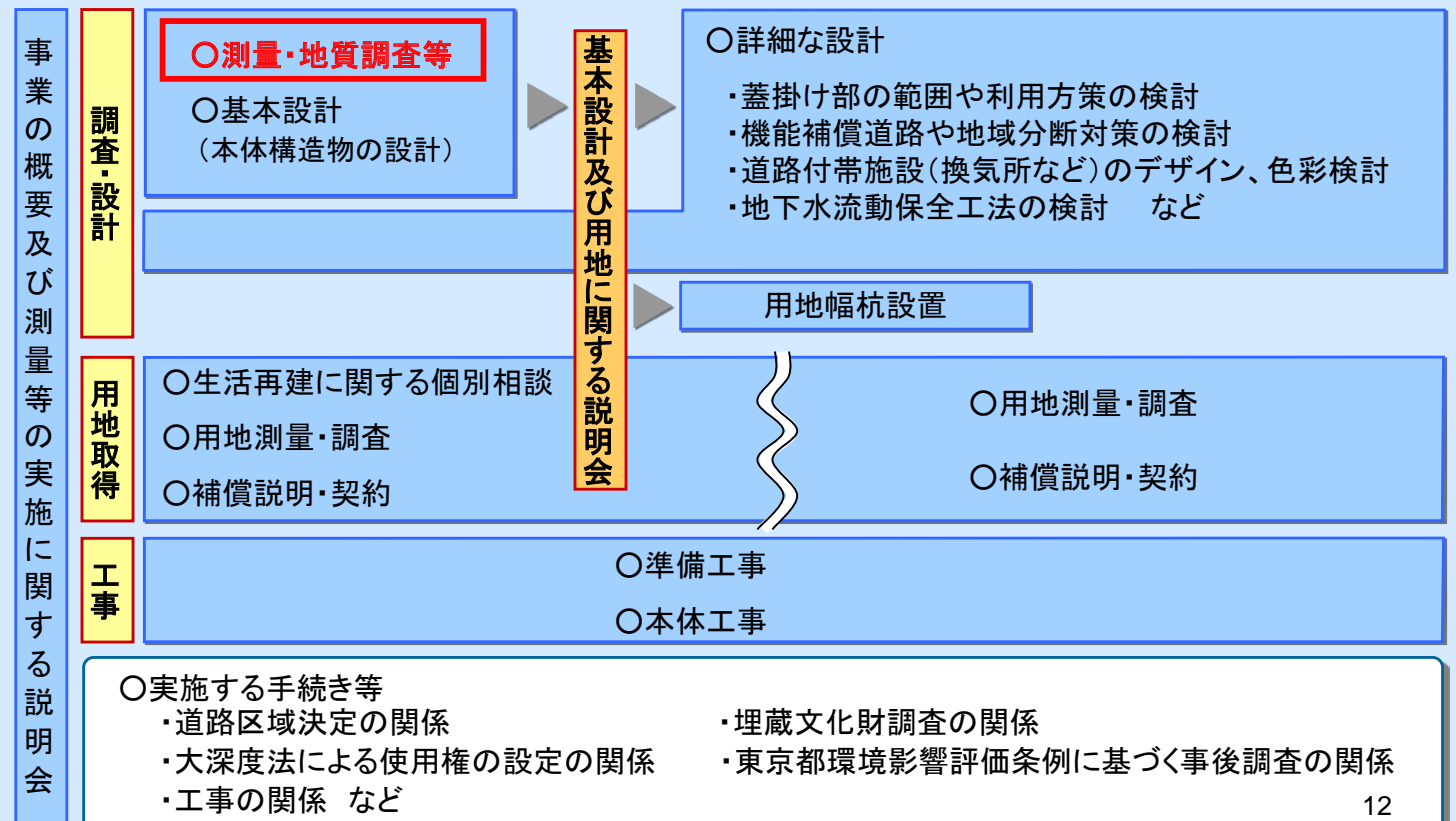
# 現地で実施した 地質調査の結果

11

## 事業の流れ

### 事業実施段階

※地域の皆さまへ必要な説明を行い、適宜、ご意見をお聴きしつつ実施



12

# 地質調査の概要



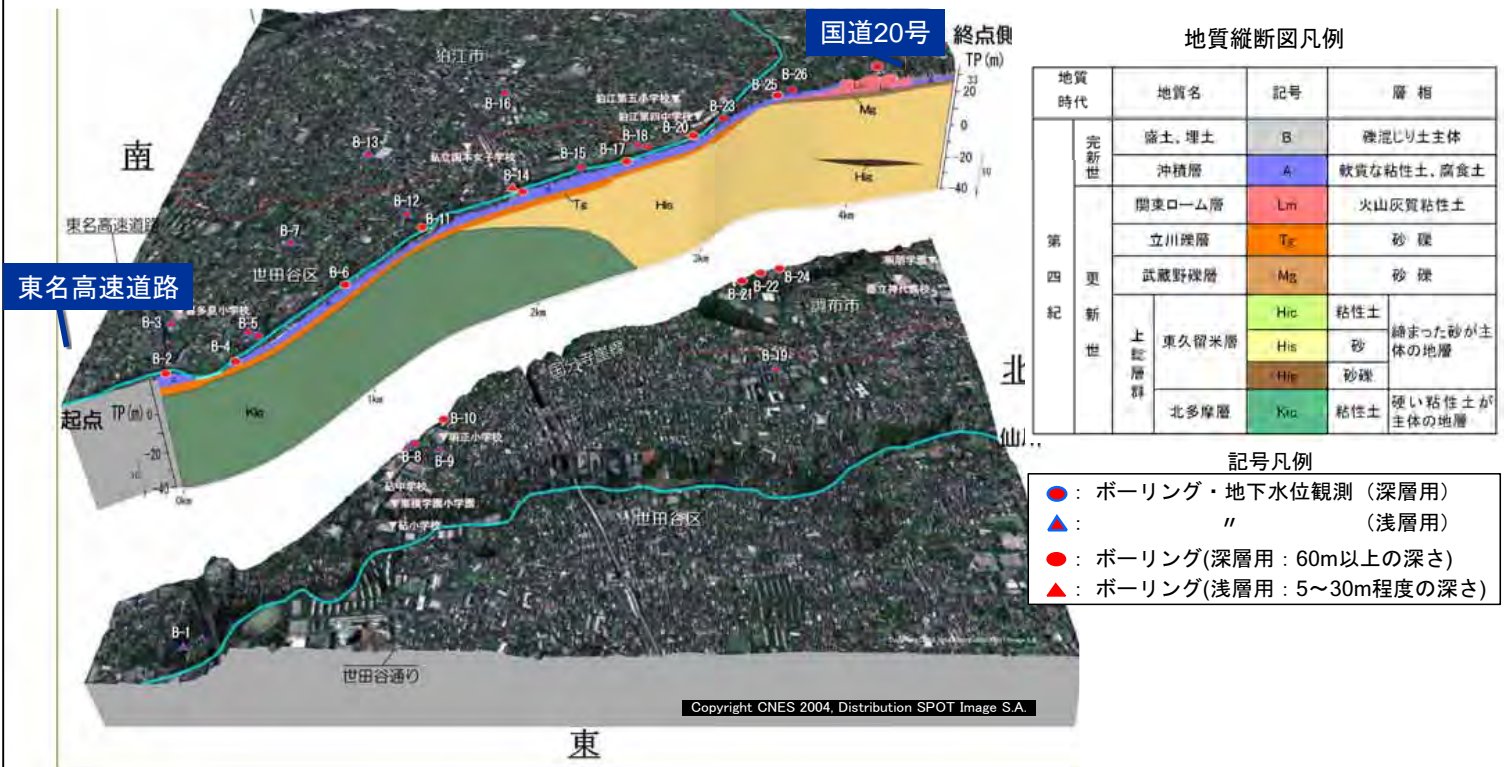
## ●ボーリング調査

60m以上の深い層まで確認するボーリング調査を、環境影響評価時などの調査に追加して実施しました。

## ●物理探査

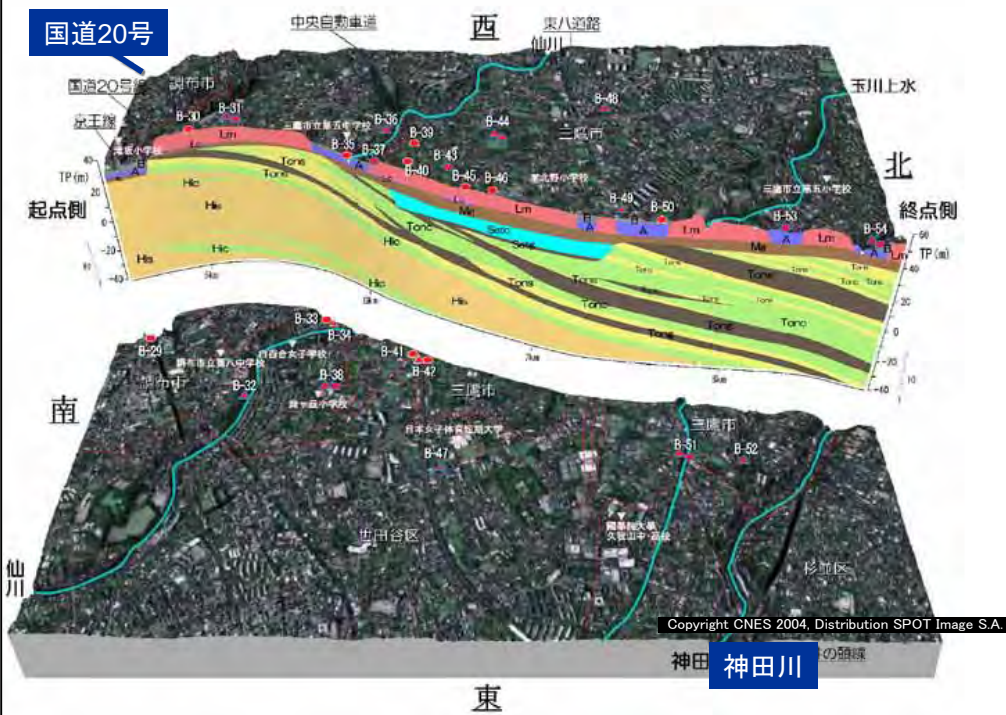
各地点の地盤の微振動を測定・解析し、ボーリング調査の結果と合わせて、地層の連続性を確認しました。

# 調査結果(東名高速道路～国道20号付近)



※本図の地形は国土地理院発行の「数値地図5mメッシュ(標高)『東京都区部』」を使用しています。  
 ※地質縦断面図は、計画路線に沿った断面を示しています。  
 ※地質縦断面図は、縦：横=10：1の割合で表現しています。また、標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。

# 地質縦断図(国道20号～神田川付近)



地質縦断図凡例

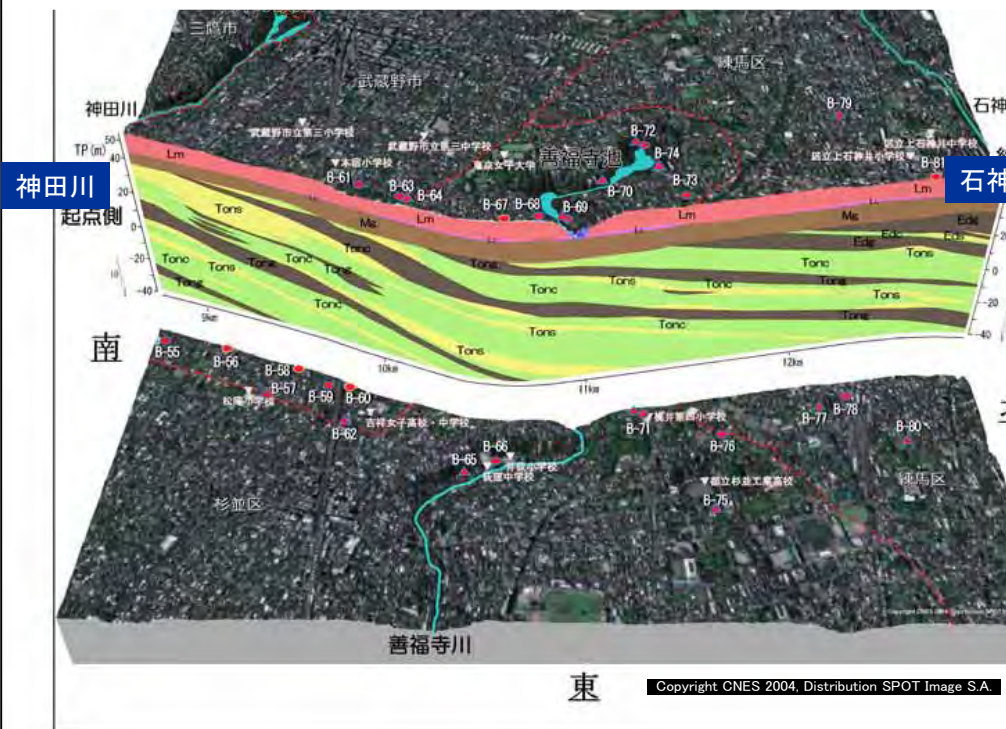
地質時代	地質名	記号	層相	
完新世	盛土、埋土	B	硬混じり土主体	
	沖積層	A	軟質な粘性土、腐食土	
第四紀更新世	関東ローム層	Lm	火山灰質粘性土	
	ローム質粘土層	Lc	粘土化した関東ローム層	
	武蔵野礫層	Ms	砂礫	
	世田谷層	Sets		細粒分の多い粘性土
		Sets		砂礫
	上総層群	Tonc		粘性土
		Tons		締まった砂礫、砂、硬い粘性土が繰り返す地層
Tang			砂礫	
Hic			粘性土	
久留米層	Hic		締まった砂が主体で、硬い粘性土の薄い層を挟む地層	
	Hic		砂	
	Hic		砂礫	

記号凡例

- : ボーリング・地下水位観測 (深層用)
- ▲ : " (浅層用)
- : ボーリング(深層用: 60m以上の深さ)
- ▲ : ボーリング(浅層用: 5~30m程度の深さ)

※本図の地形は国土地理院発行の「数値地図5mメッシュ(標高)『東京都区部』」を使用しています。  
 ※地質縦断図は、計画路線に沿った断面を示しています。  
 ※地質縦断図は、縦:横=10:1の割合で表現しています。また、標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。

# 調査結果(神田川～石神井川付近)



地質縦断図凡例

地質時代	地質名	記号	層相	
完新世	盛土、埋土	B	硬混じり土主体	
	沖積層	A	軟質な粘性土、腐食土	
第四紀更新世	関東ローム層	Lm	火山灰質粘性土	
	ローム質粘土層	Lc	粘土化した関東ローム層	
	武蔵野礫層	Ms	砂礫	
	上総層群	Tonc		粘性土
		Tons		締まった砂礫、砂、硬い粘性土が繰り返す地層
	久留米層	Tang		砂礫
		Tang		砂礫

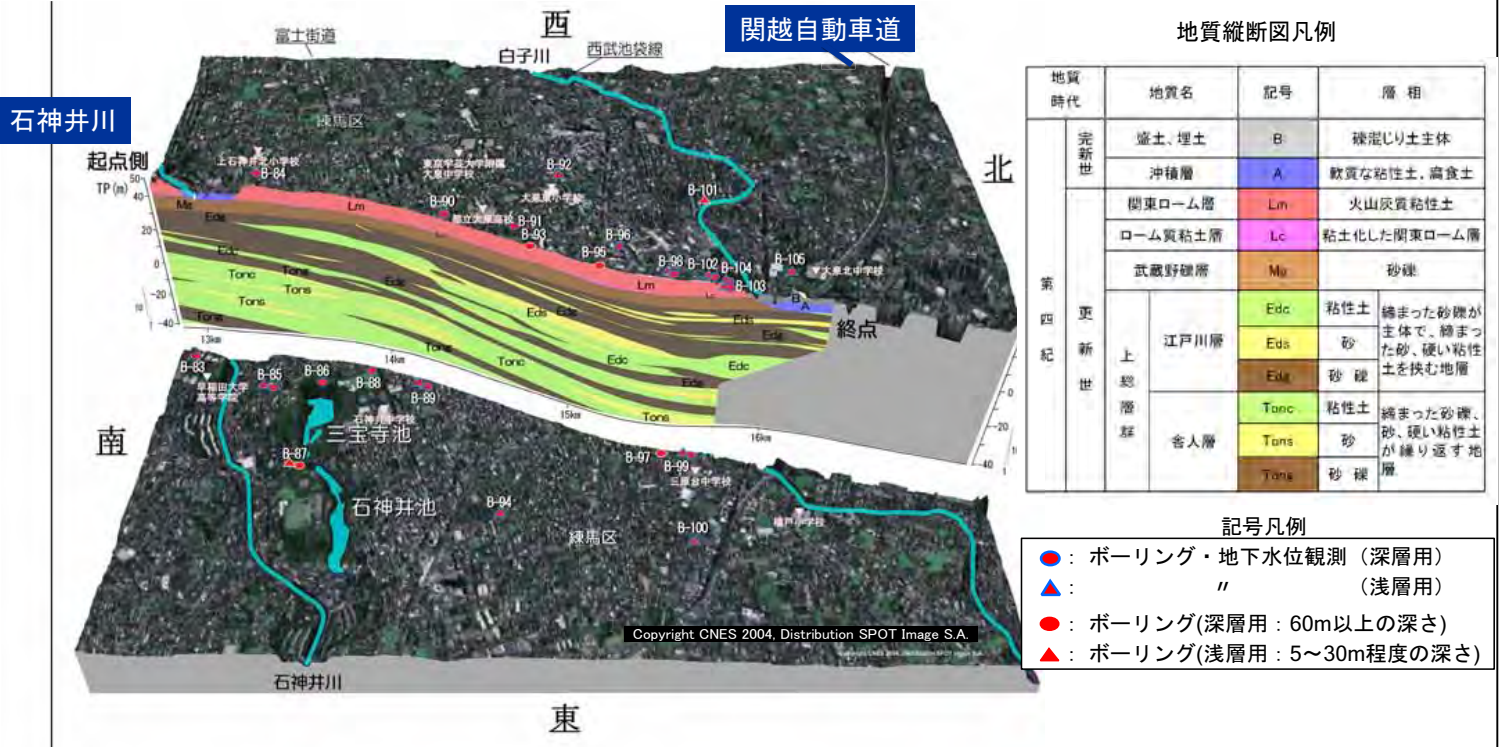
記号凡例

- : ボーリング・地下水位観測 (深層用)
- ▲ : " (浅層用)
- : ボーリング(深層用: 60m以上の深さ)
- ▲ : ボーリング(浅層用: 5~30m程度の深さ)

※本図の地形は国土地理院発行の「数値地図5mメッシュ(標高)『東京都区部』」を使用しています。  
 ※地質縦断図は、計画路線に沿った断面を示しています。  
 ※地質縦断図は、縦:横=10:1の割合で表現しています。また、標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。  
 ※青梅街道IC改変部では平成21年12月の説明会に基づく調査は未実施です。

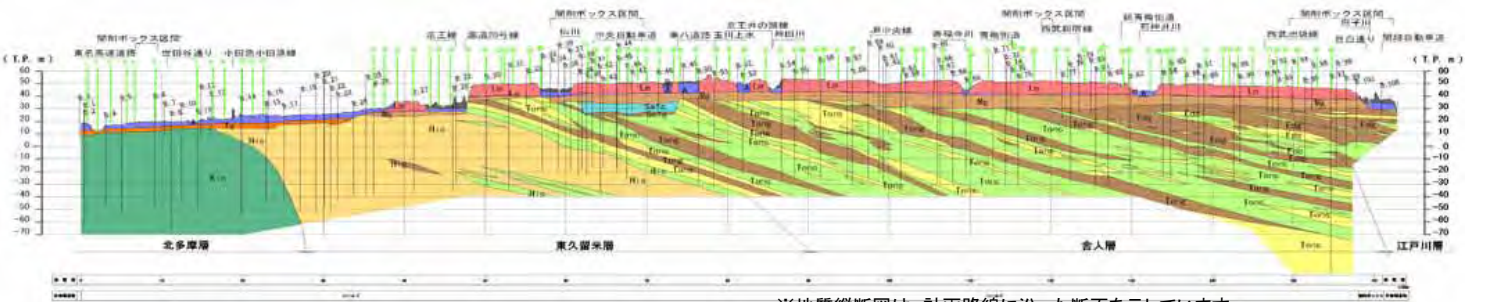


# 調査結果(石神井川～関越自動車道付近)



※本図の地形は国土地理院発行の「数値地図5mメッシュ(標高)『東京都区部』」を使用しています。  
 ※地質縦断面図は、計画路線に沿った断面を示しています。  
 ※地質縦断面図は、縦:横=10:1の割合で表現しています。また、標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。

## 地質調査結果のまとめ



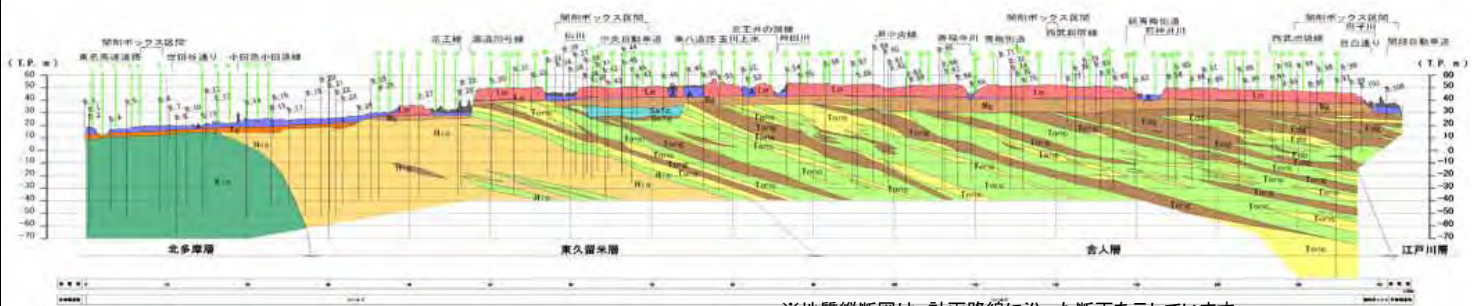
### (浅い層)

- 東名高速道路～国道20号付近
  - ・沖積層の粘性土等の下に立川礫層が分布
- 国道20号～関越自動車道付近
  - ・関東ローム等の下に武蔵野礫層が分布
  - ・中央自動車道付近の約1kmの区間には、武蔵野礫層の下に世田谷層が分布

➡ 環境影響評価時の調査と、大局的には同様の結果

※地質縦断面図は、計画路線に沿った断面を示しています。  
 ※地質縦断面図は、縦:横=20:1の割合で表現しています。  
 標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。  
 ※青梅街道10改変部では平成21年12月の説明会に基づく調査は未実施です。

# 地質調査結果のまとめ



※地質縦断面図は、計画路線に沿った断面を示しています。  
※地質縦断面図は、縦：横=20：1の割合で表現しています。  
標高は東京湾平均海面を基にした表示(T.P.+m)を用いています。  
※青梅街道IC変更部では平成21年12月の説明会に基づく調査は未実施です。

(深い層)

- 非常に固い上総層群が分布
- 上総層群が約1度で北に向かって緩やかに傾斜して分布

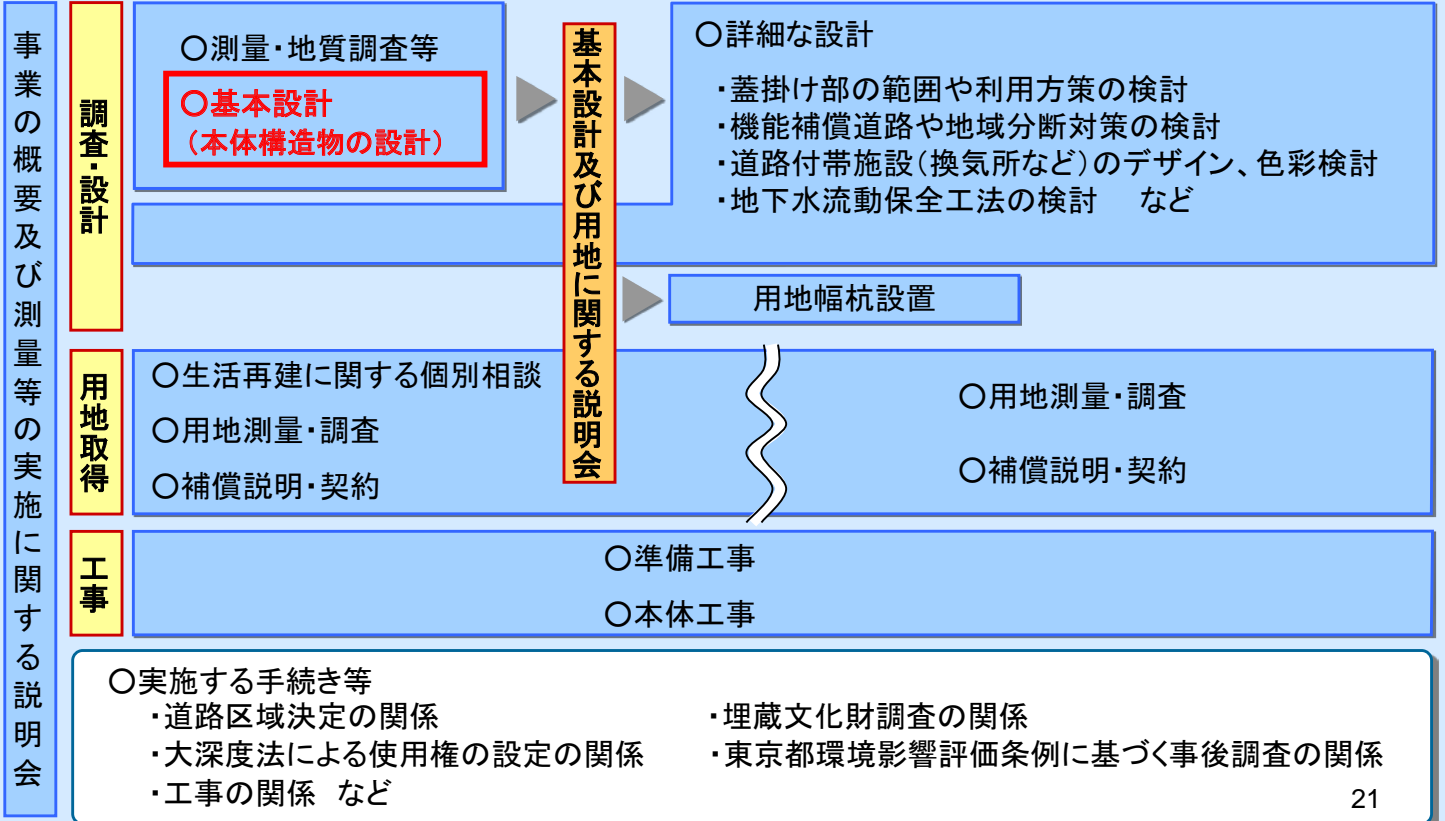
➡ 環境影響評価時の調査と、大局的には同様の結果

# 基本設計

# 事業の流れ

## 事業実施段階

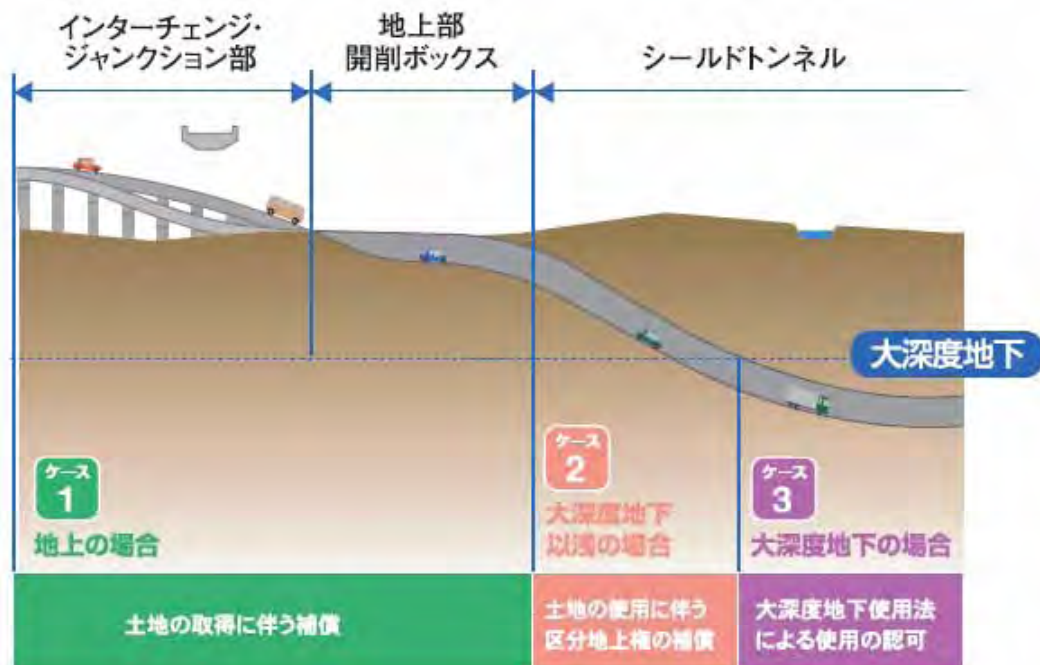
※地域の皆さまへ必要な説明を行い、適宜、ご意見をお聴きしつつ実施



## 事業用地の区分

### ●事業用地は3つに区分

- ①地上(インターチェンジ・ジャンクション部、開削ボックス)
- ②シールドトンネル(大深度地下以浅)
- ③シールドトンネル(大深度地下)



## 関連する「対応の方針」記載事項(抜粋)

- ジャンクション構造については、現地の状況を把握するための測量や詳細な検討を行うための地質調査を実施し、その結果及び検討会で頂いた意見などを踏まえ、地域への影響が小さくなるようジャンクション構造の技術的な検討を実施します。(以上、東名JCT)
- 現段階では、料金所をはじめとして掘割構造で計画していますが、具体的な設計に際しては構造や換気設計、交通安全を考慮しつつ、できるだけ蓋かけ構造を採用し、地域での有効活用が図られるよう検討します。
- 蓋かけ部の上部の整備については、設計段階から、地域のみなさまの意見を十分に聴きながら地域特性や区市のまちづくり計画にも配慮し、公園または緑地的な利用が可能となるよう検討し、区市の意向を踏まえ、関係機関等との調整に努めます。(以上、中央JCT)
- 八の釜の湧き水の環境保全措置については、武蔵野礫層からの取水が可能であり、環境施設帯等十分なスペースの確保が可能なこと等から、水源の確保による水辺環境の整備並びに動物・植物の生息・生育環境の整備が実施可能と考えており、地下水や地質の状況などの詳細な調査を実施しながら、検討を進めてまいります。(以上、大泉JCT)

23

## 東名JCT周辺の検討の概要

- 東名高速の上を通る2つのランプをアンダーパスにする構造を検討
- これによりランプの一部がトンネル構造に変更可能

【これまでのイメージ】



【検討後のイメージの一例】

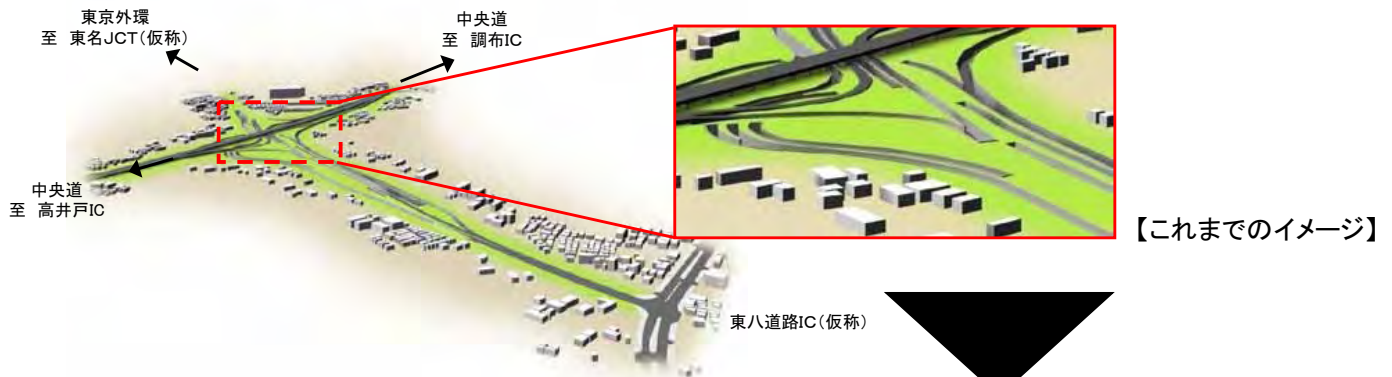


⇒地域への影響が小さくなる構造

24

# 中央JCT・東八道路IC周辺の検討の概要

## ●掘割構造としていたランプについて蓋掛け構造を検討

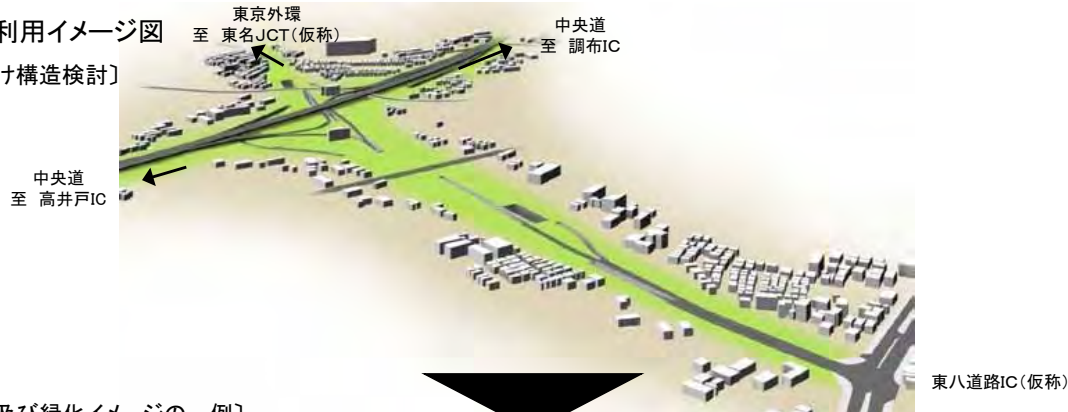


⇒地域への影響が小さくなる構造

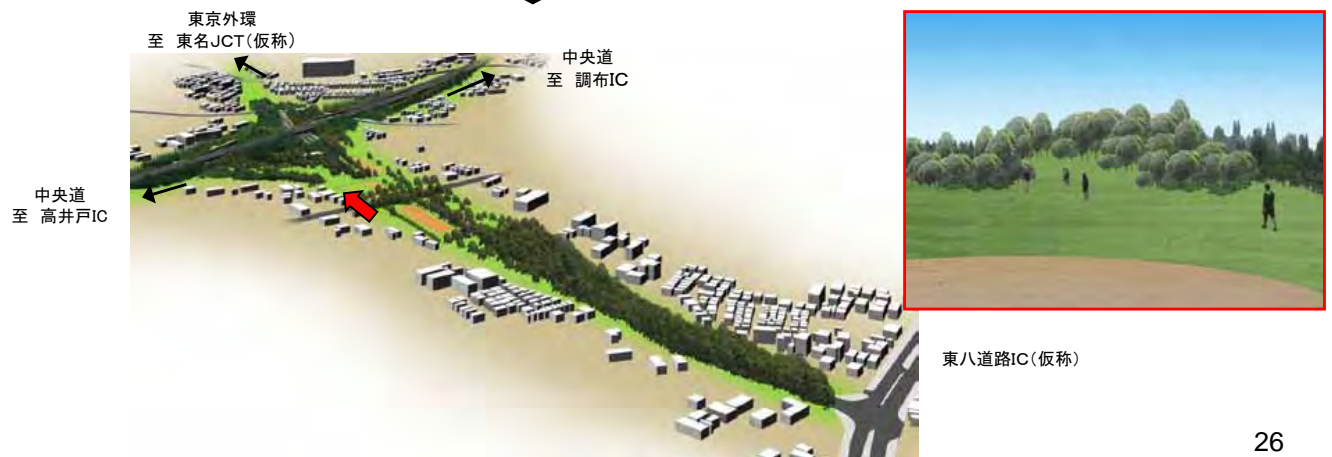
25

# 中央JCT・東八道路IC周辺の検討の概要

## ●上部利用イメージ図 〔蓋掛け構造検討〕



## 〔公園及び緑化イメージの一例〕



26

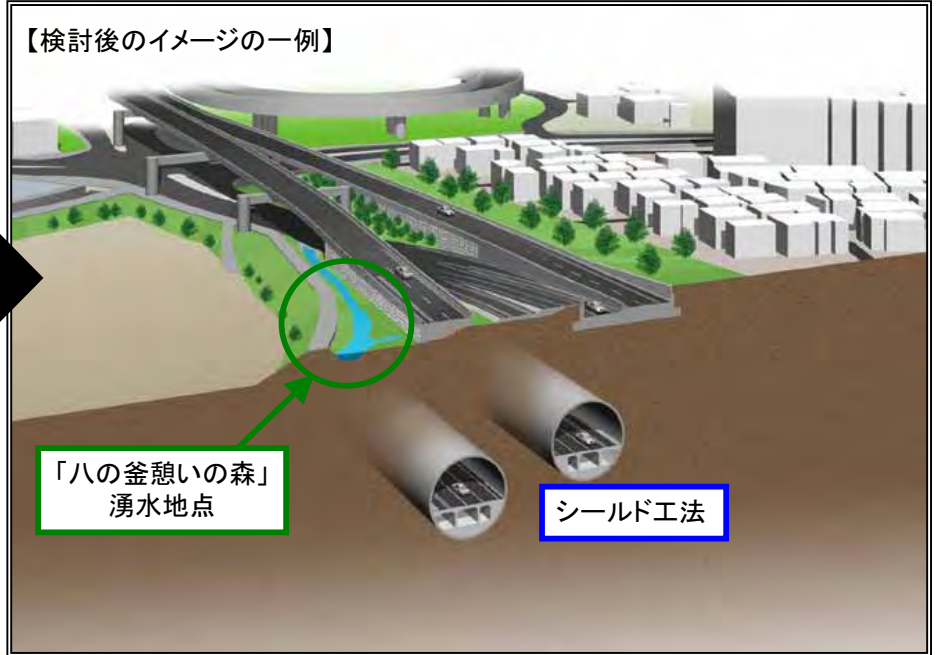
# 大泉JCT・目白通りIC周辺の検討の概要

- 本線トンネル部について一部シールド工法の採用を検討
- さらに湧水地周辺の地形改変が少なくなるよう配慮

【これまでのイメージ】



【検討後のイメージの一例】



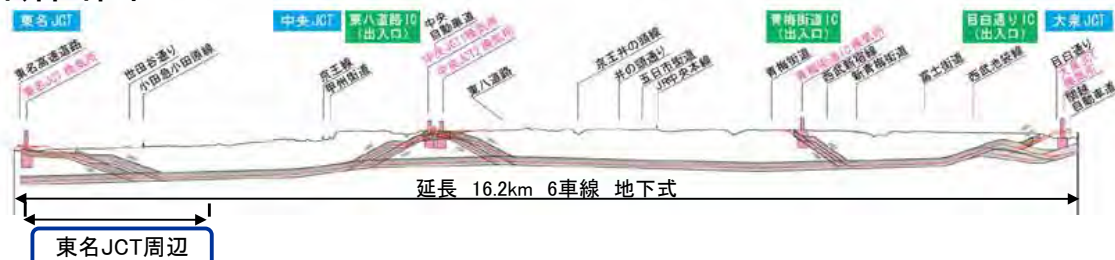
⇒地域への影響が小さくなる工法

# 東名JCT周辺の基本設計

## ●位置図



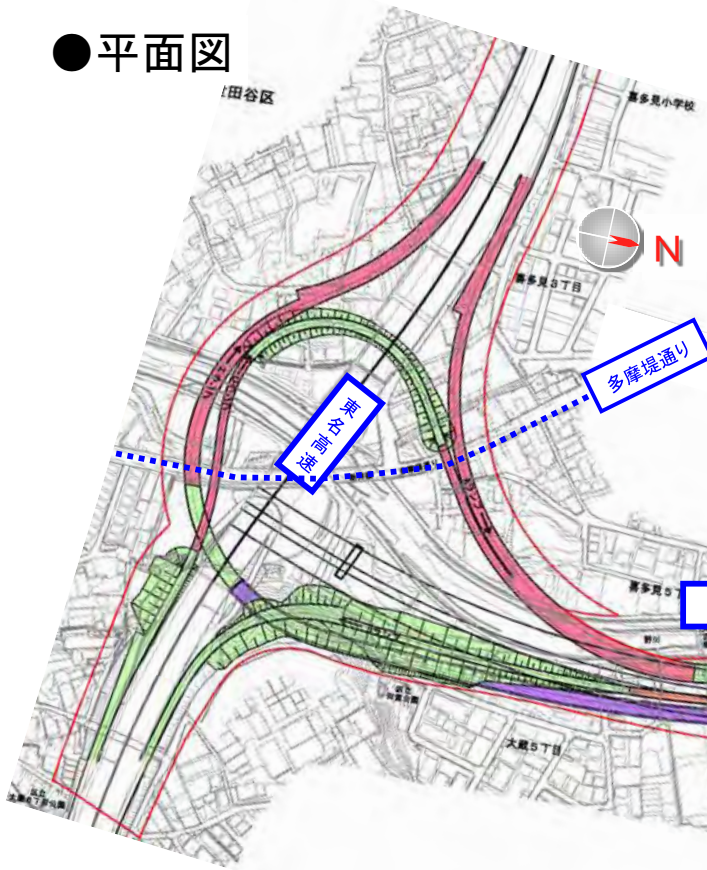
## ●縦断面図



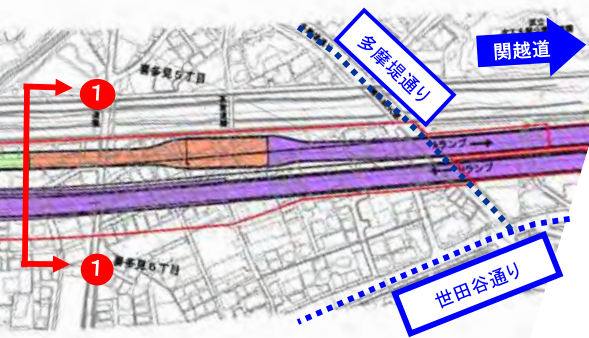
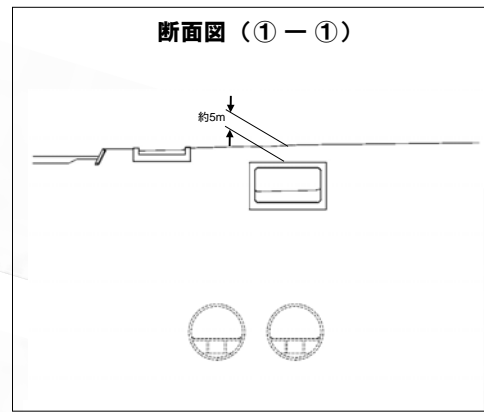
注) JCT・IC名は仮称

# 東名JCT周辺の基本設計

## ● 平面図

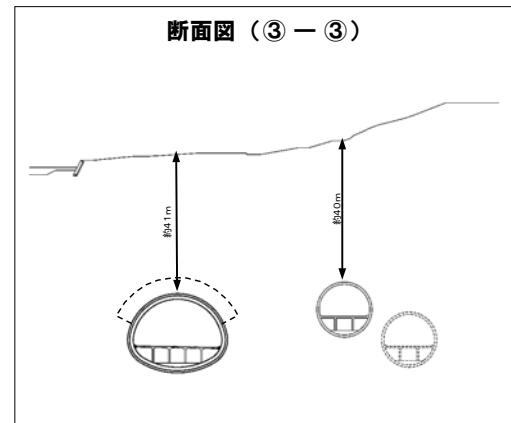
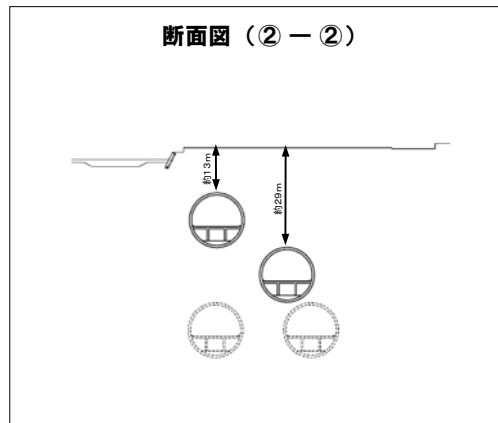


## ● 断面図

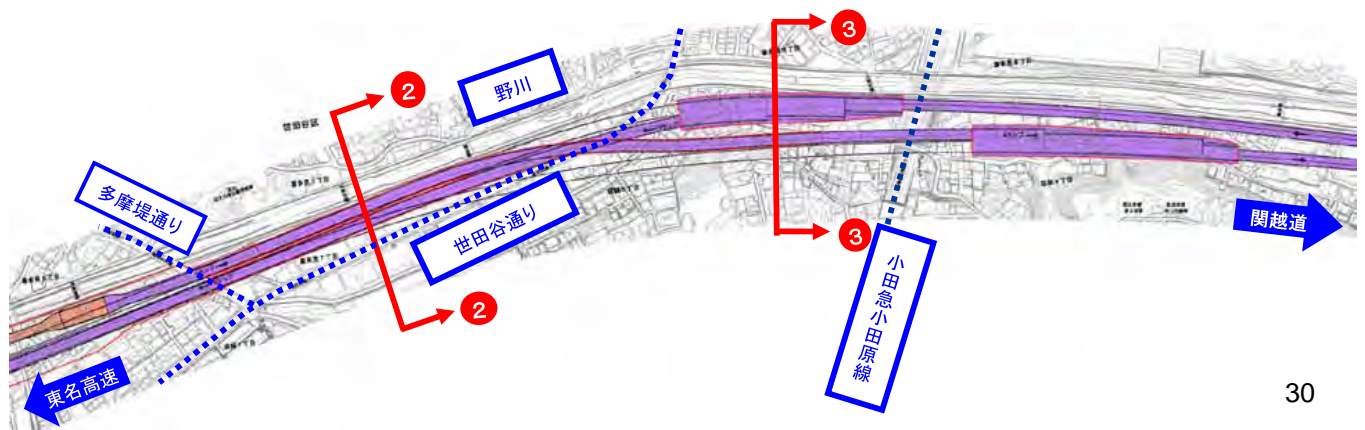


# 東名JCT周辺の基本設計

## ● 断面図



## ● 平面図

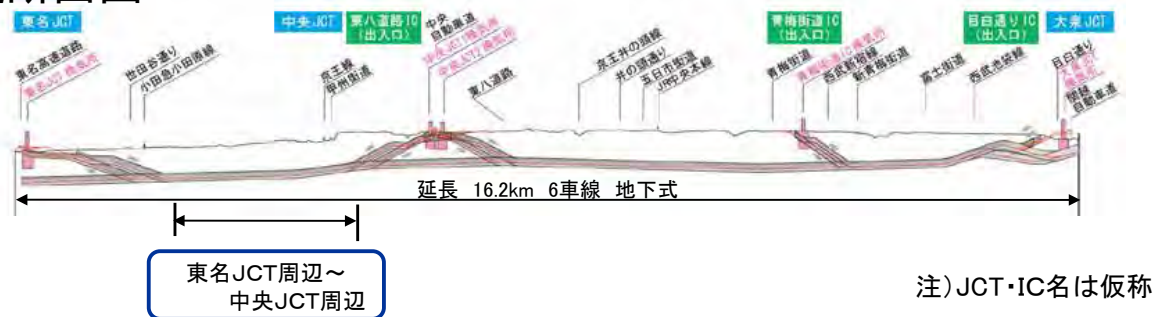


# 本線トンネル部(東名JCT~中央JCT)の基本設計

## ●位置図



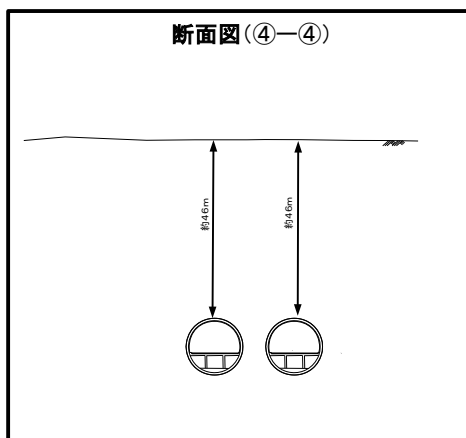
## ●縦断面図



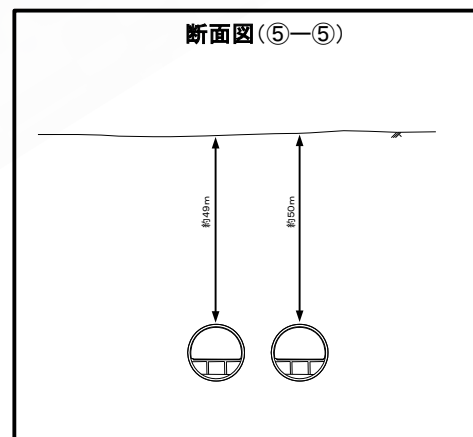
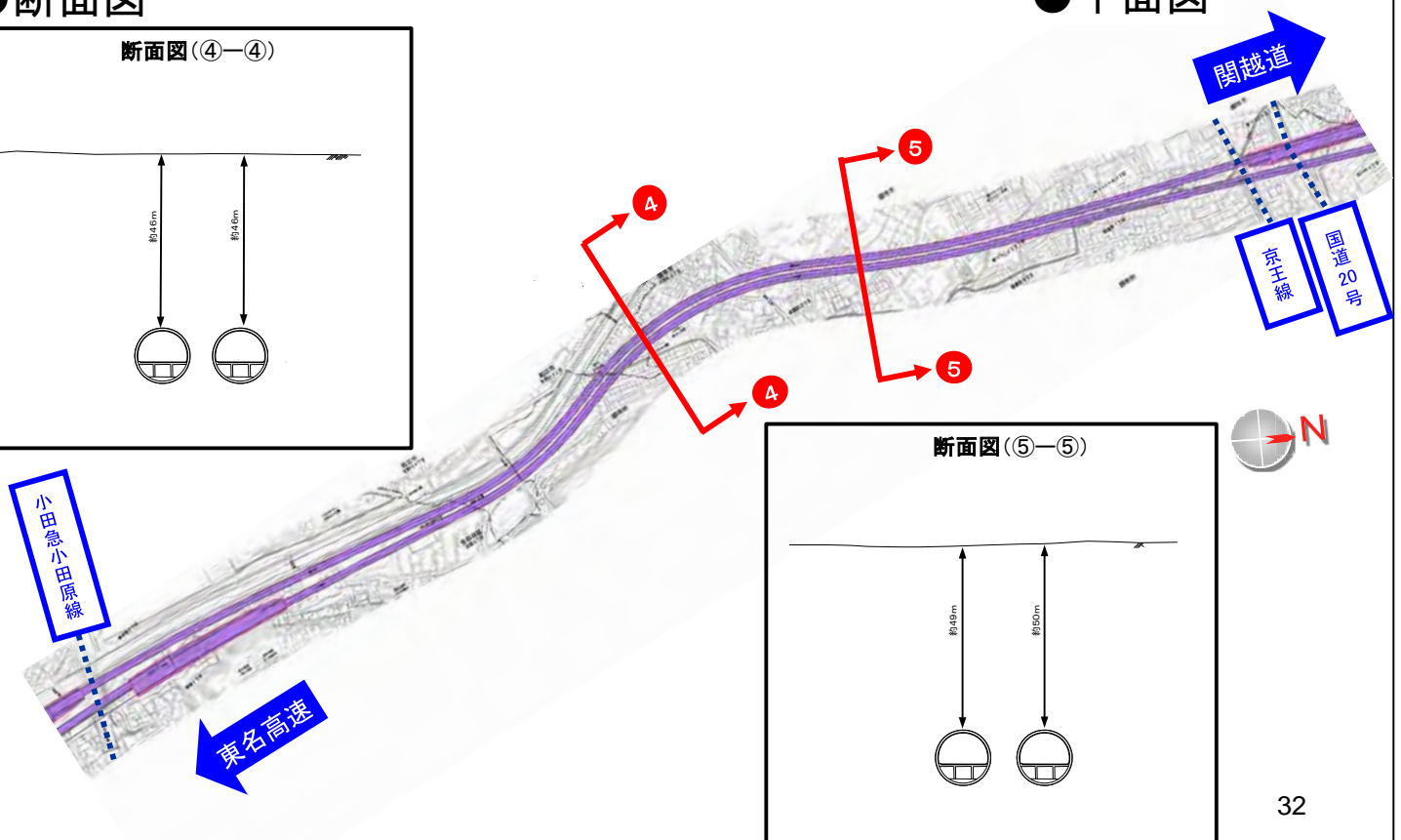
注)JCT・IC名は仮称

# 本線トンネル部(東名JCT~中央JCT)の基本設計

## ●断面図



## ●平面図



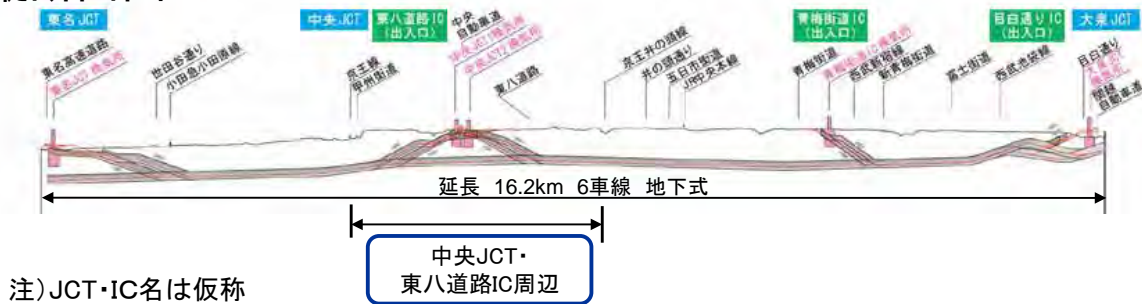


# 中央JCT・東八道路IC周辺の基本設計

## ●位置図

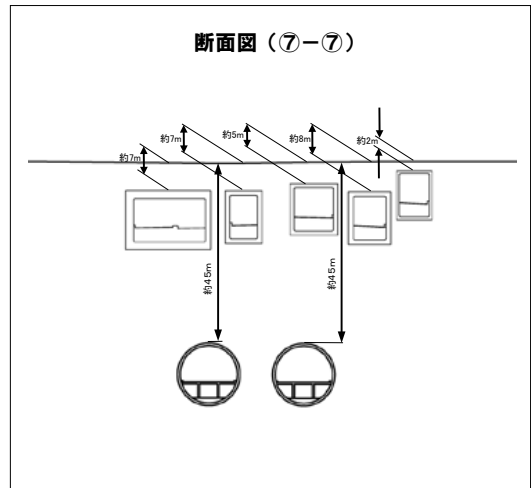
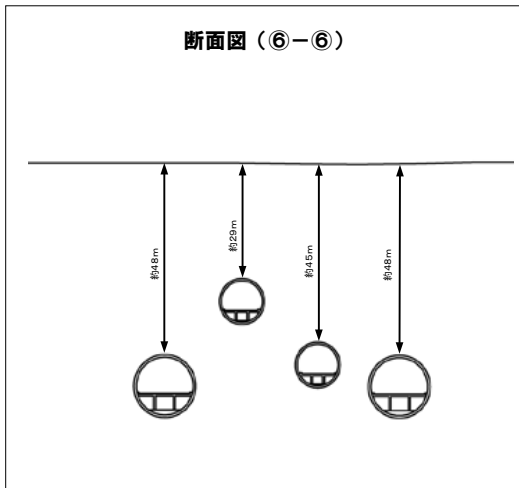


## ●縦断面図

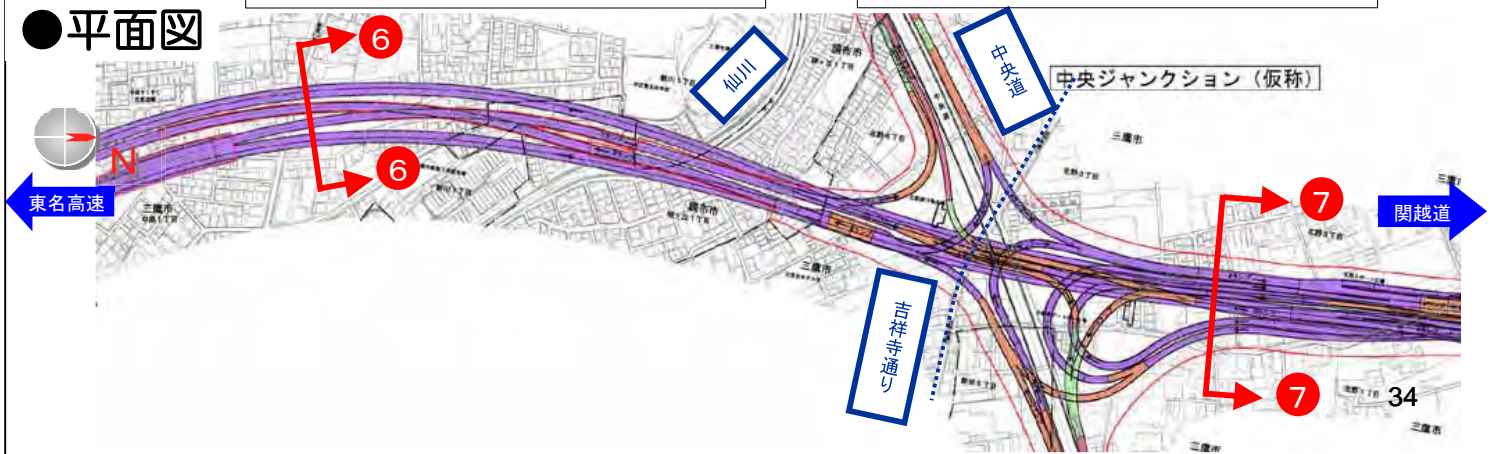


# 中央JCT・東八道路IC周辺の基本設計

## ●断面図

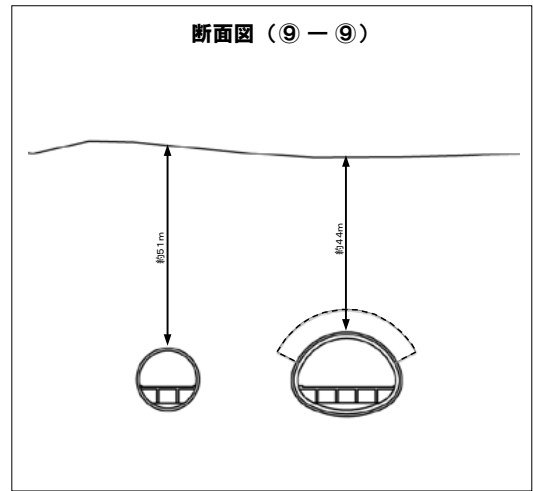
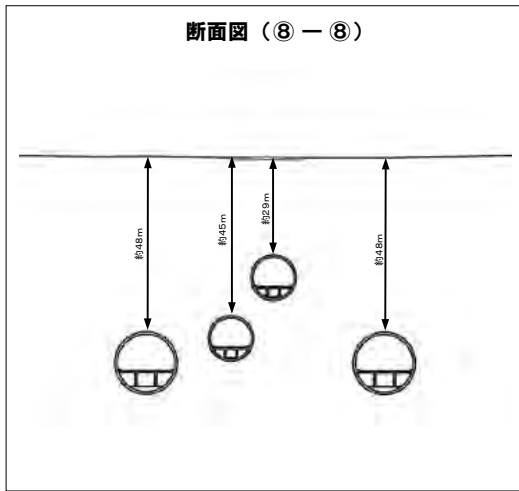


## ●平面図

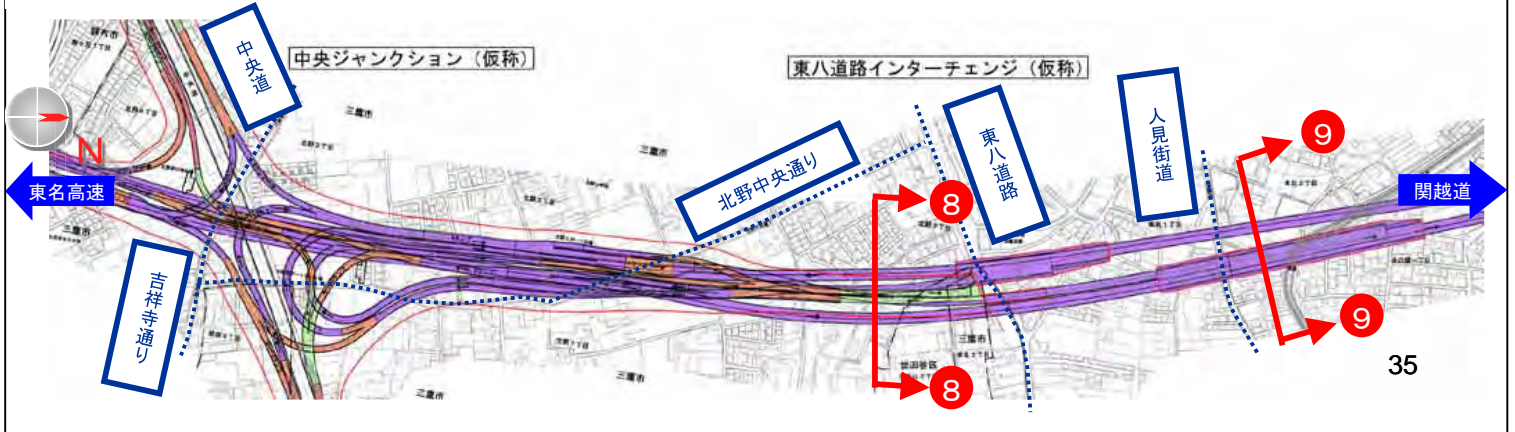


# 中央JCT・東八道路IC周辺の基本設計

## ●断面図



## ●平面図

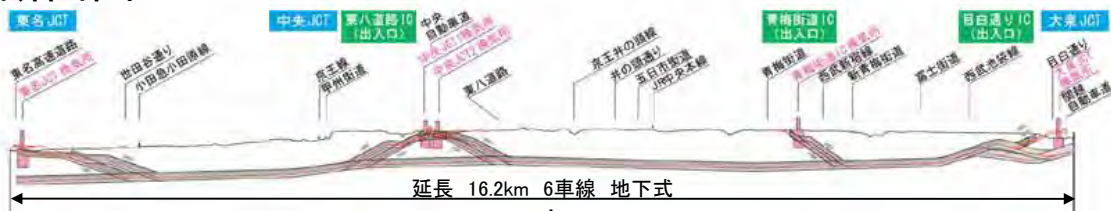


# 本線トンネル部(中央JCT～青梅街道IC)の基本設計

## ●位置図



## ●縦断面図

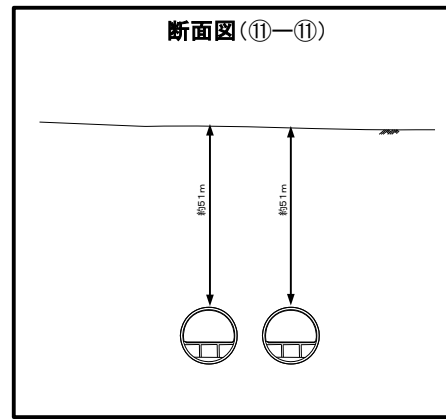
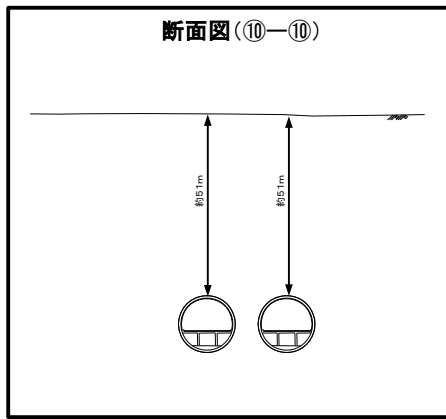


注) JCT・IC名は仮称

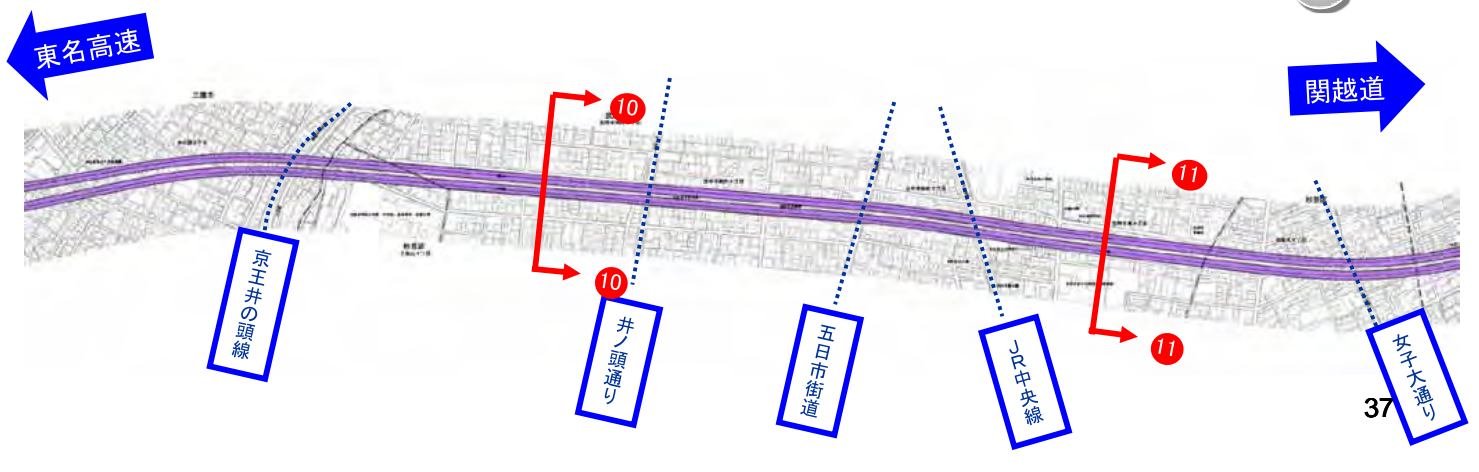
中央JCT周辺～  
青梅街道IC周辺

# 本線トンネル部(中央JCT～青梅街道IC)の基本設計

## ●断面図



## ●平面図

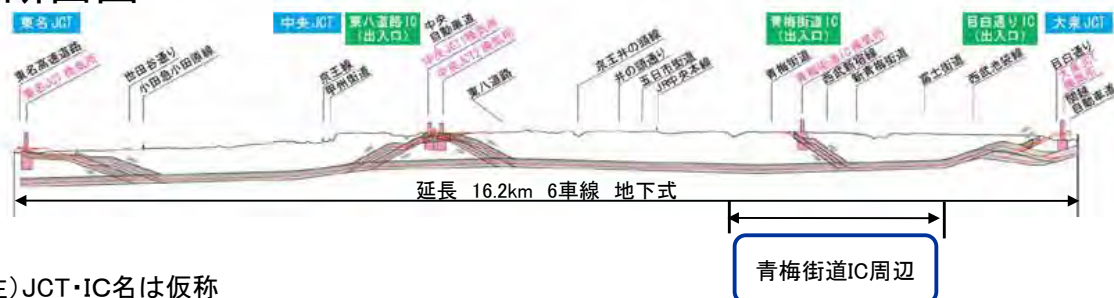


# 青梅街道IC周辺の基本設計

## ●位置図



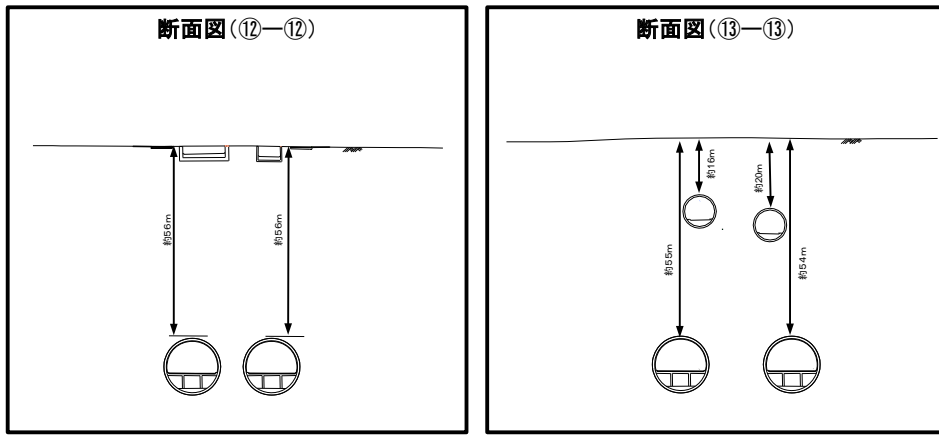
## ●縦断面図



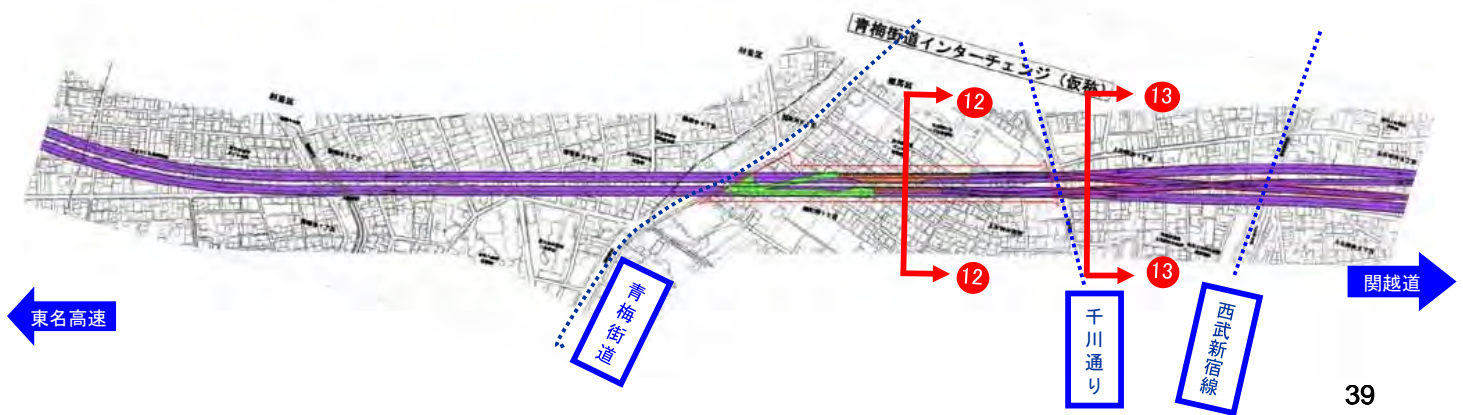
注) JCT・IC名は仮称

# 青梅街道IC周辺の基本設計

## ●断面図



## ●平面図



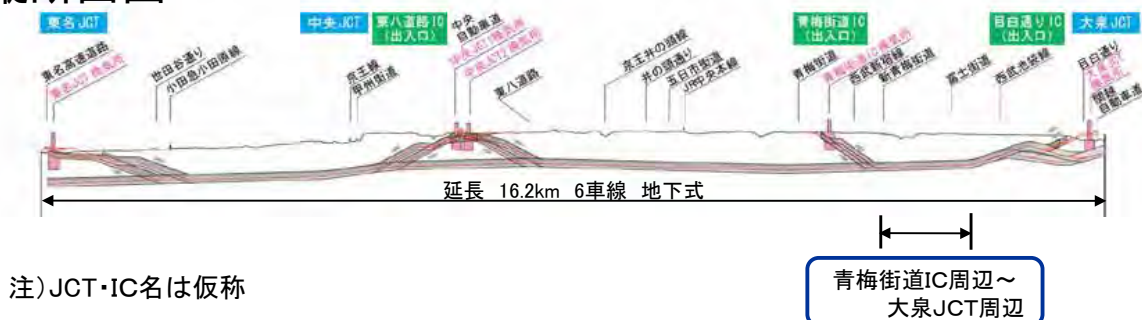
39

# 本線トンネル部(青梅街道IC~大泉JCT)の基本設計

## ●位置図



## ●縦断面図



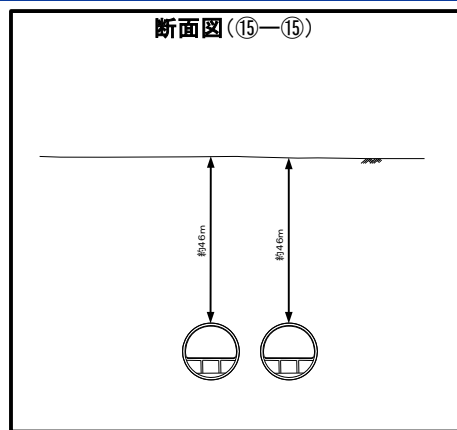
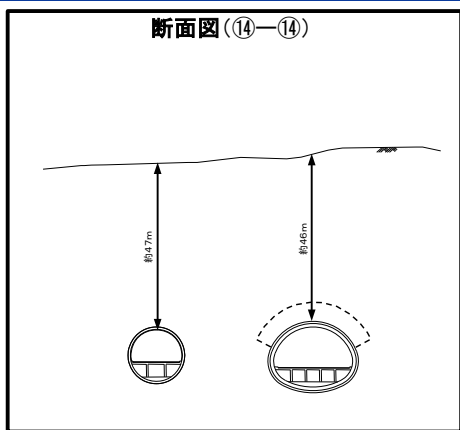
注)JCT・IC名は仮称

青梅街道IC周辺~大泉JCT周辺

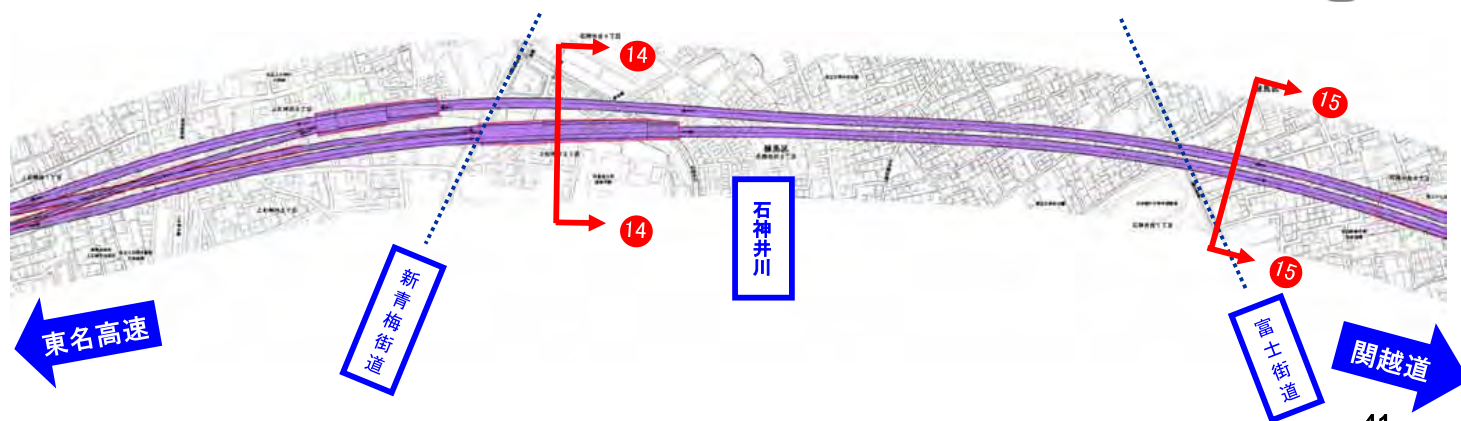
40

# 本線トンネル部(青梅街道IC~大泉JCT)の基本設計

## ●断面図



## ●平面図



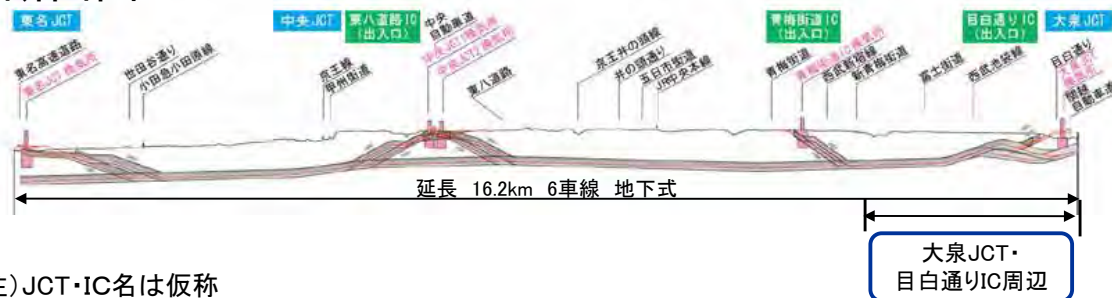
41

# 大泉JCT・目白通りIC周辺の基本設計

## ●位置図



## ●縦断面図



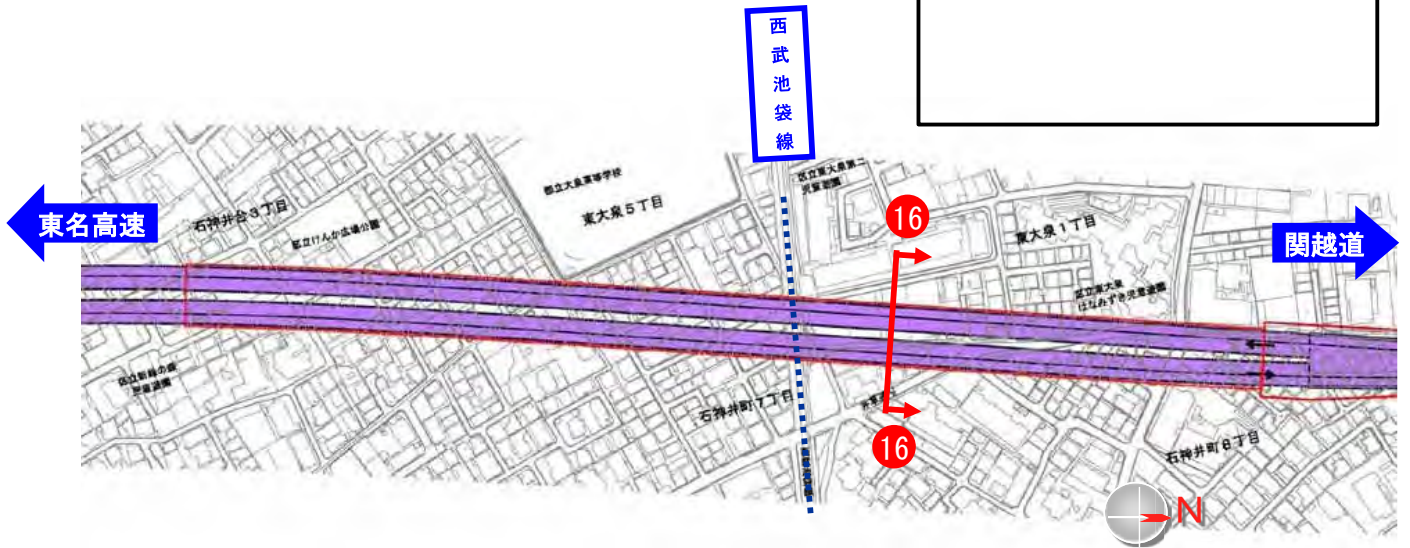
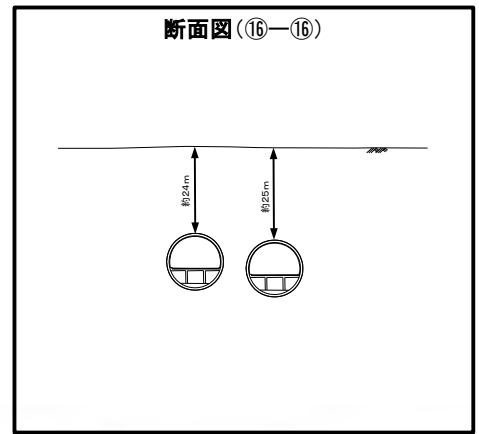
注) JCT・IC名は仮称

42

# 大泉JCT・目白通りIC周辺の基本設計

● 平面図

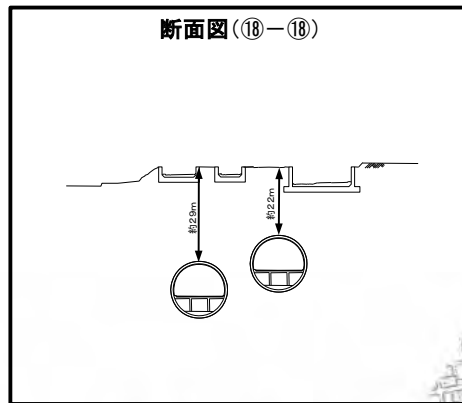
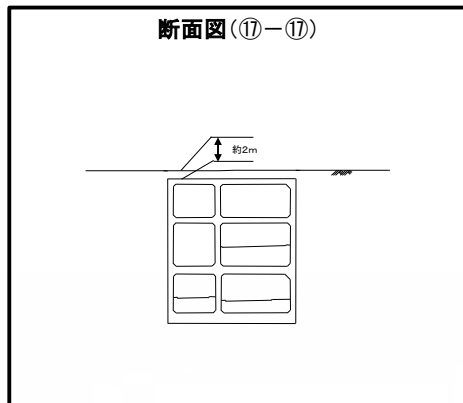
● 断面図



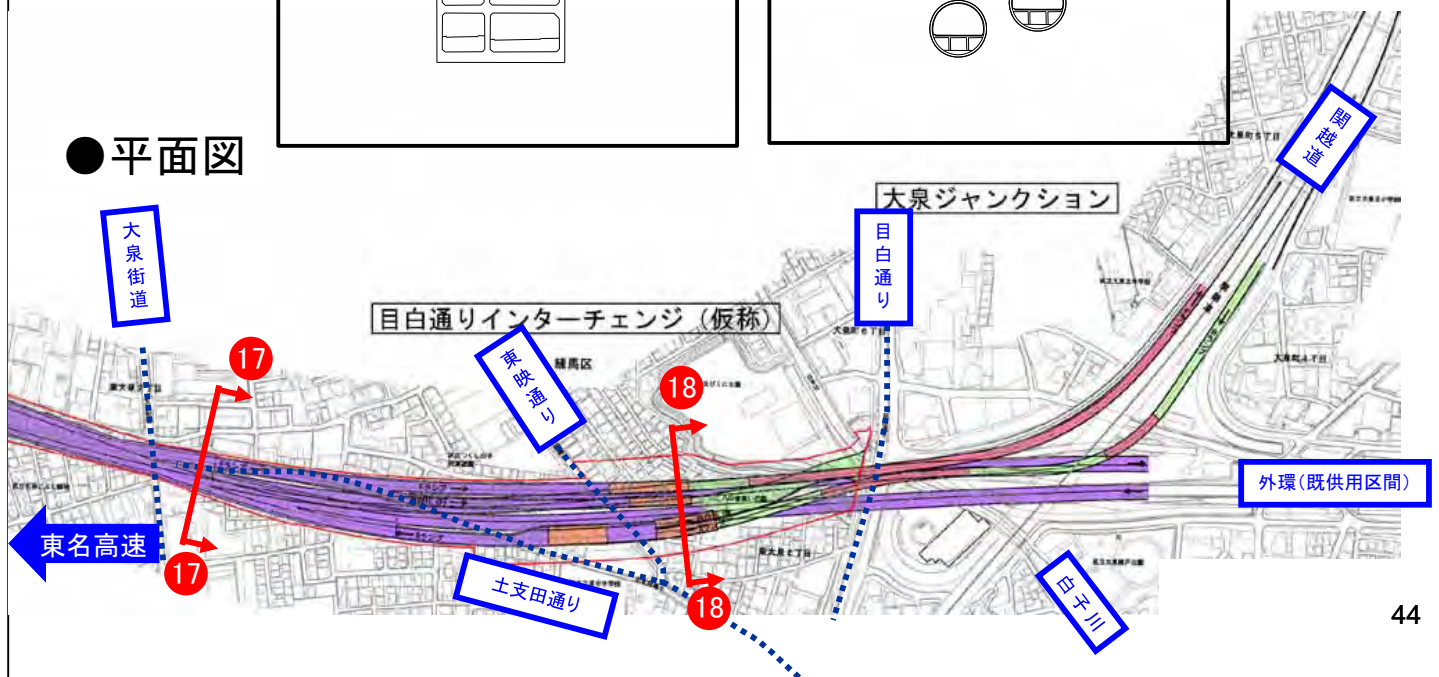
43

# 大泉JCT・目白通りIC周辺の基本設計

● 断面図



● 平面図



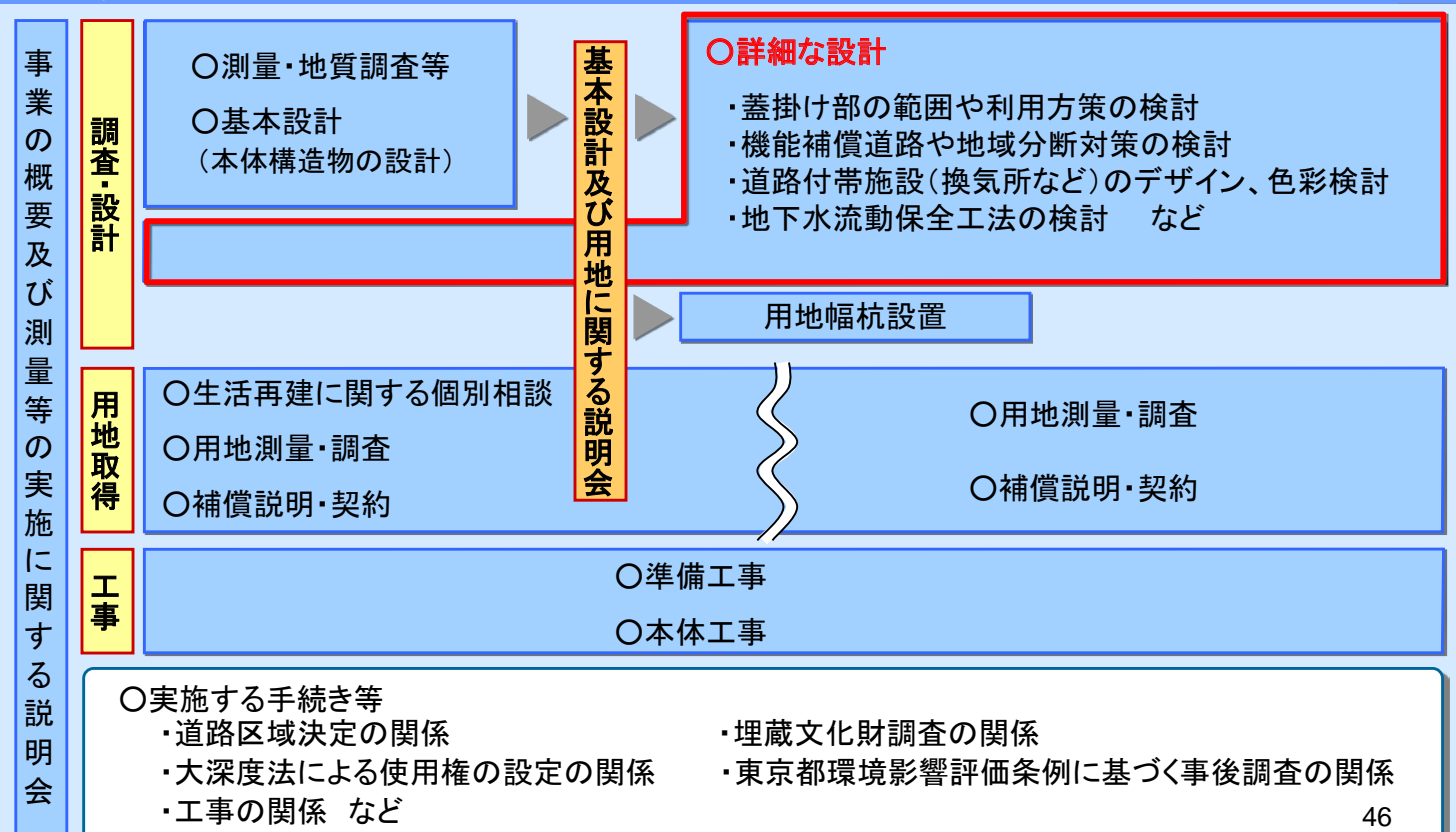
44

# 詳細な設計の進捗状況等

## 事業の流れ

### 事業実施段階

※地域の皆さまへ必要な説明を行い、適宜、ご意見をお聴きしつつ実施



## 東名JCT周辺の検討状況

### 【対応の方針(抜粋)】

- 野川に架かる大正橋、水道橋、茶屋道橋や喜多見地区など現況のコミュニティに影響が生じる箇所については、環境施設帯などを活用した分断道路の機能を補完する道路を確保します。

### 【検討状況】

- 現況道路やバス路線等を把握しました。



赤い線:事業範囲内の現況道路 青い点線:バス路線

### 【今後の進め方】

「対応の方針」を踏まえ、地域の皆さまのご意見をお聴きしながら、地域特性や世田谷区の「東名ジャンクション周辺地区街づくり方針」に配慮した道路計画とするように、東京都や世田谷区とともに検討を進めます。

47

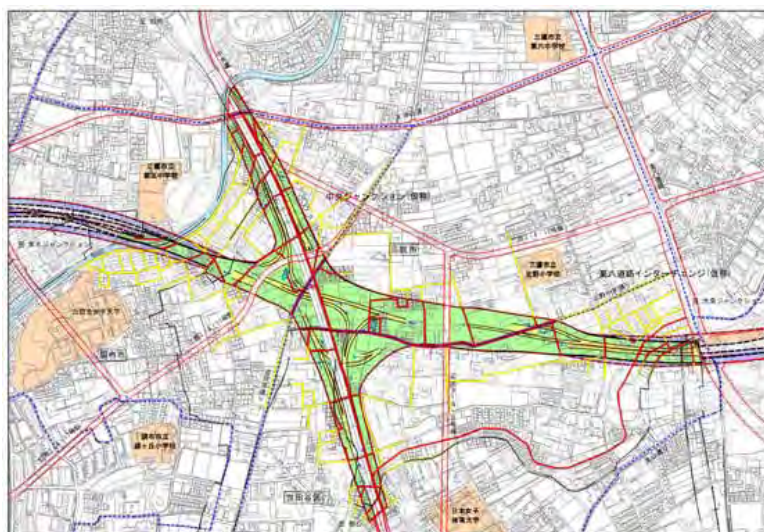
## 中央JCT・東八道路IC周辺の検討状況

### 【対応の方針(抜粋)】

- 吉祥寺通りや北野中央通り等の分断道路の機能を補完する道路の整備にあたっては、行き止まり道路の状況、周辺の生活道路の状況を把握したうえで、それまでの利便性の低下を生じないよう機能確保に努めます。

### 【検討状況】

- 現況道路やバス路線等を把握しました。



赤い線:事業範囲内の現況道路 青い点線:バス路線

### 【今後の進め方】

「対応の方針」を踏まえ、地域の皆さまのご意見をお聴きしながら、地域特性やまちづくり計画に配慮した道路計画とするように、東京都や区市とともに検討を進めます。

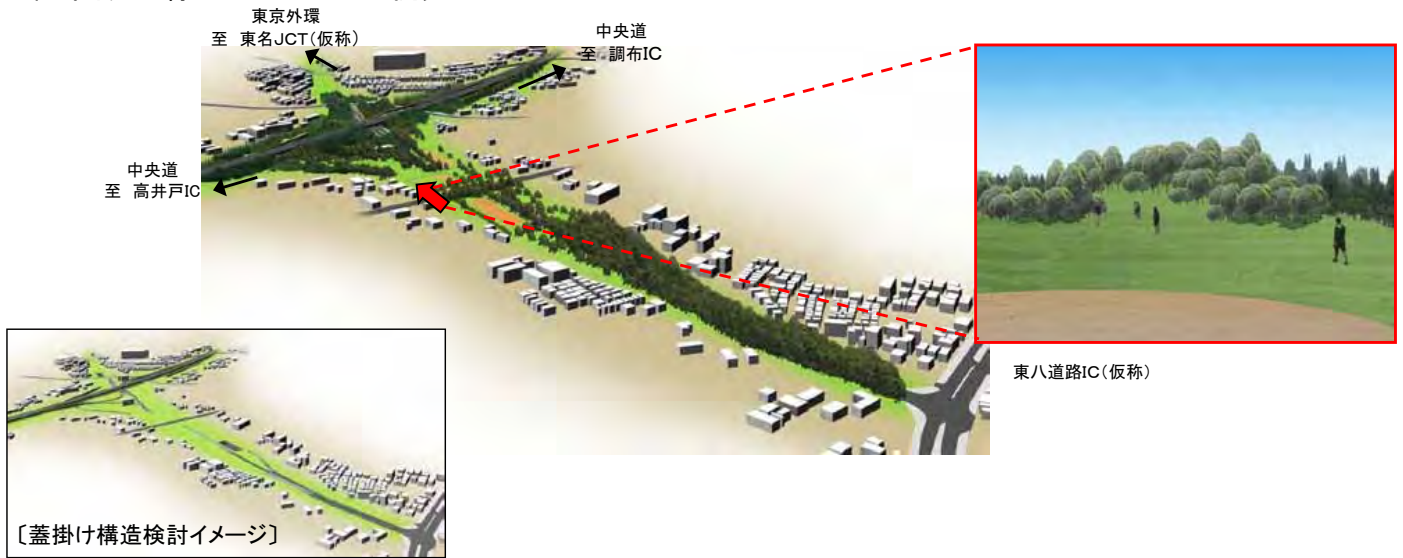
48



# 中央JCT・東八道路IC周辺の検討状況

## ● 上部利用イメージ図

〔公園及び緑化イメージの一例〕



## 【今後の進め方】

「対応の方針」を踏まえ、地域の皆さまのご意見をお聴きしながら、検討を進め、関係機関と調整します。

# 青梅街道IC周辺の検討状況

## 【対応の方針(抜粋)】

- 現況のコミュニティに影響が生じる箇所については、環境施設帯などを活用した分断道路の機能を補完する道路を確保します。

## 【検討状況】

- 現況道路やバス路線等を把握しました。



赤い線:事業範囲内の現況道路 青い点線:バス路線

## 【今後の進め方】

「対応の方針」を踏まえ、地域の皆さまのご意見をお聴きしながら、地域特性やまちづくり計画に配慮した道路計画とするように、東京都や練馬区とともに検討を進めます。

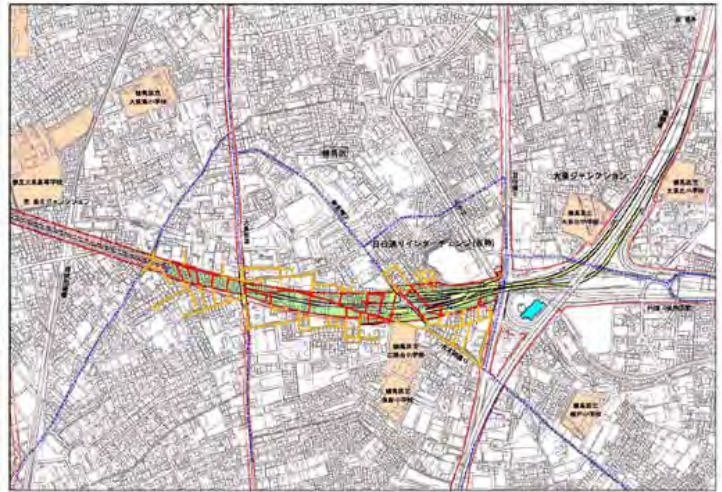
# 大泉JCT・目白通りIC周辺の検討状況

## 【対応の方針(抜粋)】

- 現況のコミュニティに影響が生じる箇所については、環境施設帯などを活用した分断道路の機能を補完する道路を確保します。
- 八の釜憩いの森の環境保全措置については、緑とふれ合え、地域の人が交流できる憩いの場となるよう配慮します。

## 【検討状況】

- 現況道路やバス路線等を把握しました。



赤い線:事業範囲内の現況道路 青い点線:バス路線

## 【今後の進め方】

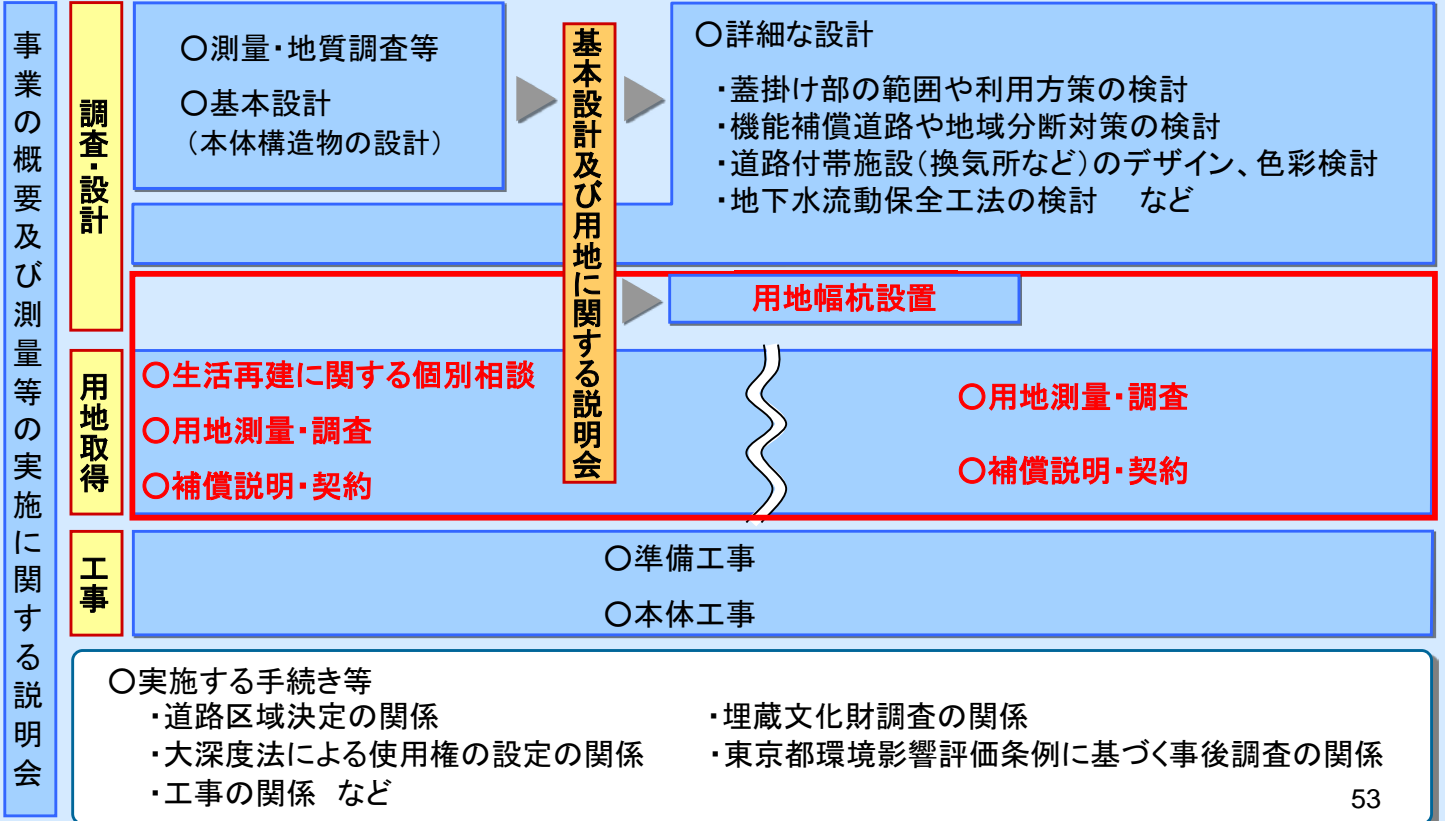
「対応の方針」を踏まえ、地域の皆さまのご意見をお聴きしながら、地域特性やまちづくり計画に配慮した道路計画とするように、東京都や練馬区とともに検討を進めます。

# 用地の補償に関する進め方

# 事業の流れ

## 事業実施段階

※地域の皆さまへ必要な説明を行い、適宜、ご意見をお聴きしつつ実施



53

## 生活再建対応の経緯と今後の予定

- 平成15～21年度 沿線区市の土地開発公社による生活再建対応の実施
- 平成22年度～ 国土交通省による生活再建対応の実施
- 平成22年8月 中央及び大泉JCTにおいて、道路区域を一部決定
- 11月 東名、中央及び大泉JCTにおいて、道路区域を追加決定

〔 事業に必要な範囲の境界付近に土地をお持ちの関係権利者から、生活再建のご相談や境界明示のご要望。 〕



事業に必要な範囲を現地に示すための用地幅杭を設置

54

# 用地幅杭の設置の作業イメージ

用地幅杭



用地幅杭設置例



用地幅釘



用地幅釘設置例



釘設置状況



# 用地幅杭の設置

- 作業は、国土交通省発行の身分証明書を携帯する測量会社が実施

身分証明書の見本

(裏)

道路法接すい  
第六十六条 道路管理者又はその命じた者若しくはその委任を受けた者は、道路に関する調査測量若しくは工事又は道路の維持のためやむを得ない必要がある場合においては、他人の土地に立ち入り又は特別の拘束のない他人の土地を材料置場若しくは作業場として一時使用することができる。前項の規定により他人の土地に立ち入るうとする場合には、あらかじめ当該土地の占有者にその旨を通知しなければならない。但しあらかじめ通知することが困難である場合にはこの限りではない。前項の規定により宅地又はかき、さく等で囲まれた土地に立ち入りとする場合には、立ち入りの際あらかじめその者を当該土地の占有者に告げなければならない。4 日出前及び日没後においては、占有者の承諾があった場合を除き、前項に規定する土地に立ち入ってはならない。5 第一項の規定により他人の土地に立ち入るうとする者はその身分を示す証票を携帯し、関係人の請求があった場合においてこれを提示しなければならない。

(表)

第 号 身分証明書  
氏名 住所  
職業 (年令 才)  
右は、道路法第六十六条第一項の規定により道路に関する調査等のため他人の土地に立ち入ることができる者であることを証する。  
交付年月日 平成 年 月 日  
有効期間 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日  
道路管理者 関東地方整備局長 ㊤

## 用地補償の流れ

1. 用地補償調査(用地測量及び物件等調査)

2. 土地調書・物件調書による面積・数量等の確認

3. 補償金額の算定

4. 補償説明

5. 契 約

6. 補償金の前金払い

7. 土地登記・建物等の移転・土地の引き渡し

8. 補償金の後金払い

57

## 用地補償調査

### ● 用地補償調査の内容

#### 1. 書面による調査

①公図の転写

②登記簿等調査(土地・建物等)

③住民票等の調査

#### 2. 現地調査

①土地に関する調査

②物件等に関する調査

58

# 現地調査

## 2. 現地調査

### (1) 土地に関する調査

- ① 現地踏査
- ② 境界立会い
- ③ 土地の測量

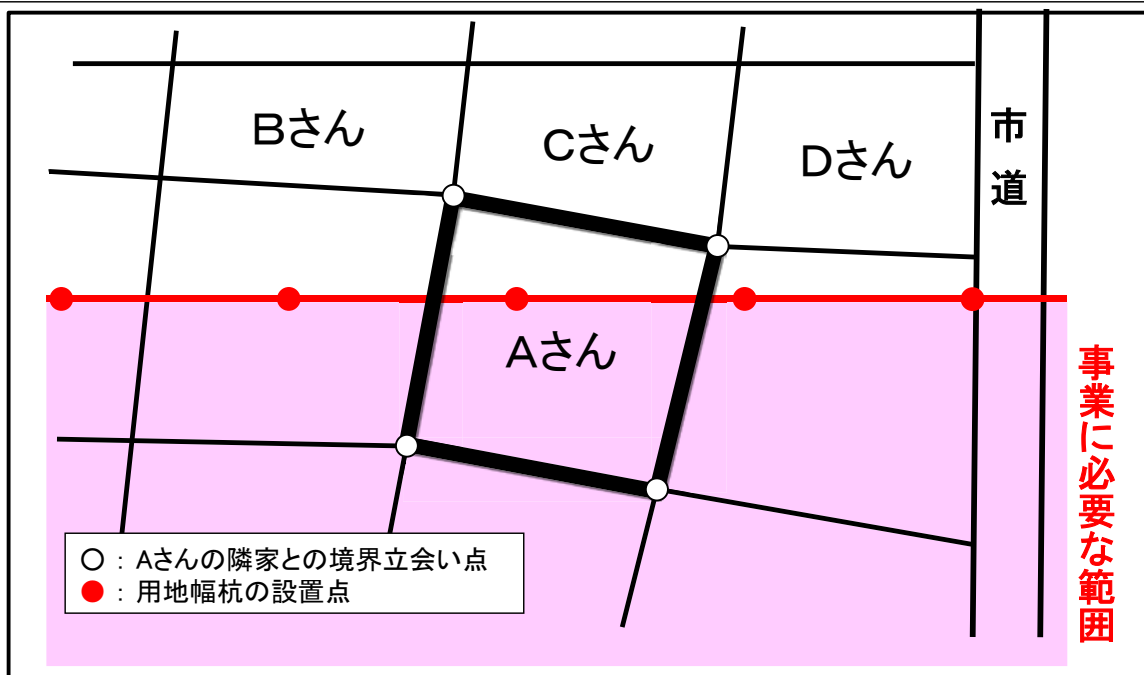
### (2) 物件等に関する調査

- ① 建物の調査
- ② 工作物の調査
- ③ 立竹木の調査
- ④ 墳墓の調査
- ⑤ 動産の調査
- ⑥ 居住者の調査
- ⑦ 借家・借間人の調査
- ⑧ 営業の調査

59

## 境界立会い

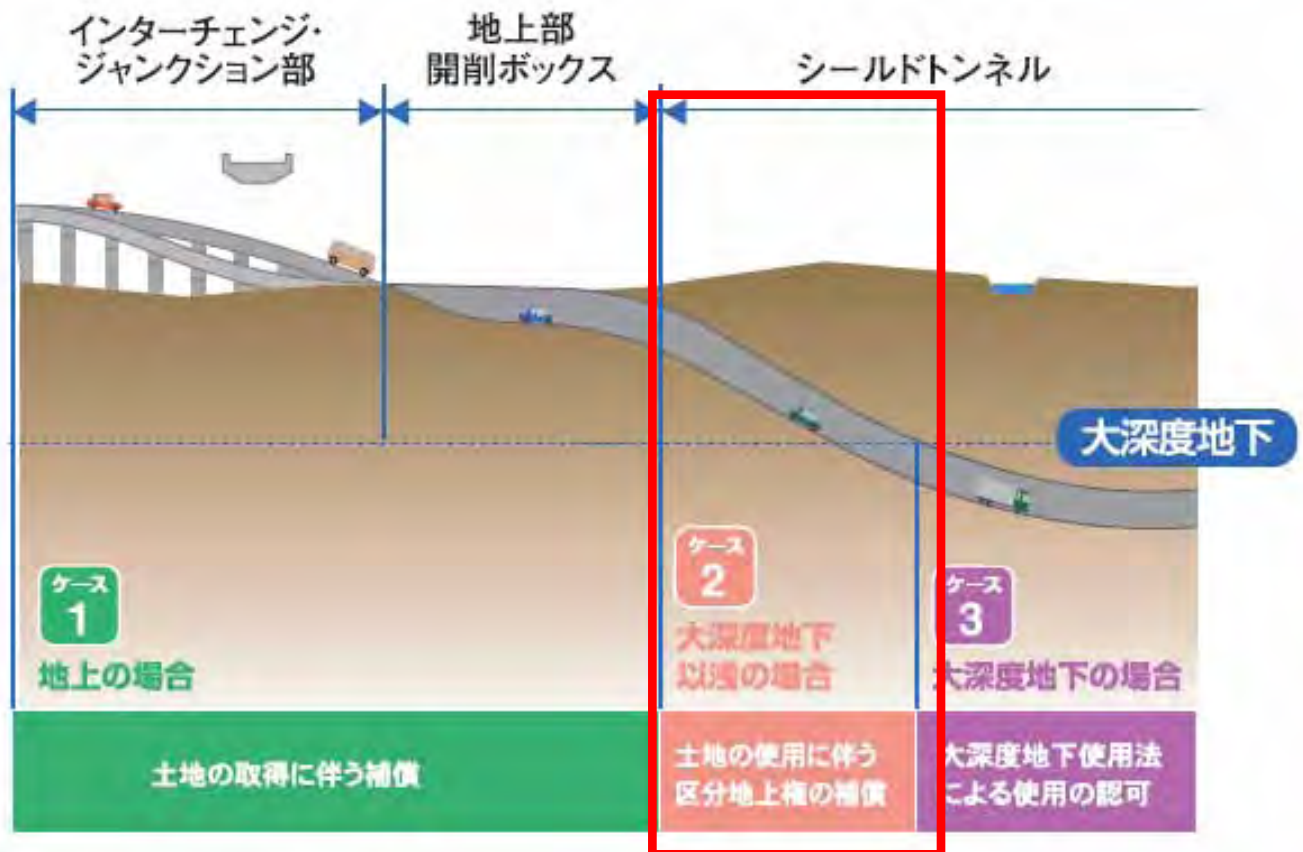
境界立会い時には、事業範囲に土地をお持ちの方に隣接する方にも立会いをお願いします。



例) Aさんの境界立会い時には、隣接するBさん、Cさん、Dさんにも立会いをお願いします。

60

## 区分地上権(くぶんちじょうけん)



61

## 区分地上権(くぶんちじょうけん)

### ●民法269条ノ2

地下又は空間は上下の範囲を定め工作物を所有するためこれを地上権の目的となすことを得

この場合においては設定行為をもって地上権の行使のために土地の使用に制限を加ふることを得

62

## 用地補償の流れ(区分地上権を設定する場合)

1. 用地補償調査(用地測量)

2. 土地調書による面積・数量等の確認

3. 補償金額の算定

4. 補償説明

5. 契 約

6. 区分地上権の設定登記

7. 補償金の一括支払い

63

## 租税特別措置法に基づく税制上の優遇措置

- 事業者が皆様の土地について買取りの申し出をした後、
  - ・6箇月以内に資産を譲渡していただいた場合  
→「**5,000万円の特別控除**」が適用可能
  - ・代替資産を取得した場合  
→「**代替資産を取得した場合の課税の特例**」が適用可能

※「5,000万円の特別控除」と「代替資産を取得した場合の課税の特例」の二つを重複適用はできません

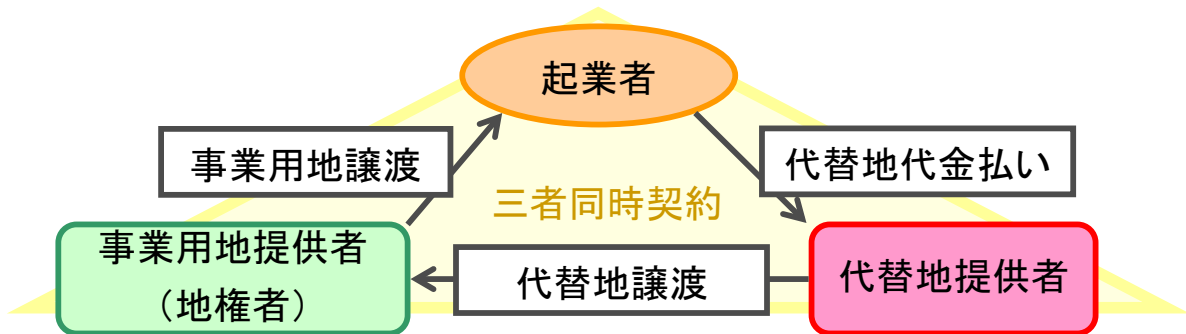
※区分地上権を設定する場合、補償金が土地の価格の1/4未満は譲渡所得とならないため、優遇措置はありません

64



## 代替地の提供者に対する優遇措置

- 事業用地の代替地を提供する者(代替地提供者)に対しても租税特別措置法上の優遇措置が適用可能。
- 所轄税務署の承認を得たうえで、代替地提供者、事業用地提供者(地権者)、起業者の三者による契約をした場合、代替地提供者に対し「1,500万円の特別控除」を適用。



※課税の特例については、租税特別措置法の適用条件が個々に異なりますので、詳細については、所轄税務署にご相談ください。

65

## 道路区域とは

- 一般国道、都道府県道及び市町村道においては、道路法第十八条第一項、高速自動車国道においては高速自動車国道法第七条第一項に基づき決定するもの。

→東京外環の場合は高速自動車国道法

- 道路区域の決定により、当該区域内においては、土地の形質変更、工作物の新築、改築、増築、若しくは大修繕、又は物件を付加増置する場合、道路管理者の許可が必要となる。



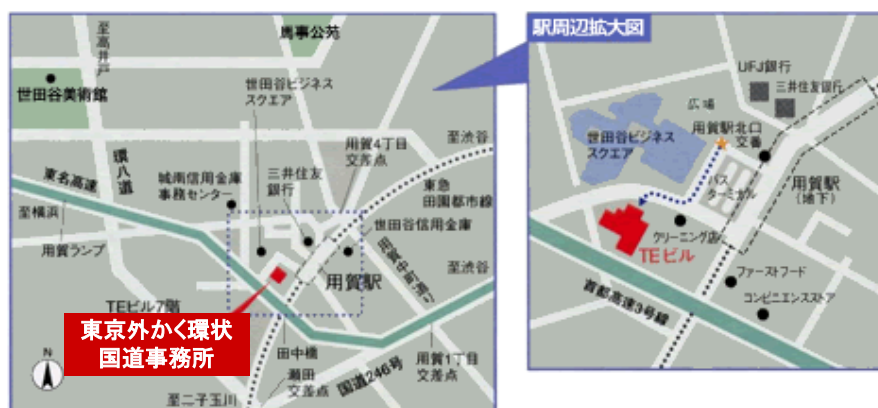
東名JCT、中央JCT・東八道路IC及び大泉JCT・目白通りICの地上部については、昨年8月と11月に決定済

66

## 相談窓口のお知らせ

- 本日の説明会の内容に関する疑問や生活再建に関するご相談等の窓口は、下記のとおりです。

- 国土交通省 関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所
- 所在地： 〒158-8580 世田谷区用賀4-5-16 TEビル7F
- 外環専用フリーダイヤル： TEL& FAX 0120-34-1491
- 受付時間： 月～金 9:15～18:00



67

# ご清聴ありがとうございました

今後も地域の皆さまのご理解・ご協力を  
いただきながら進めてまいります。

国土交通省関東地方整備局  
東京外かく環状国道事務所

68